

第2期たかまつ創生総合戦略に関するアンケート

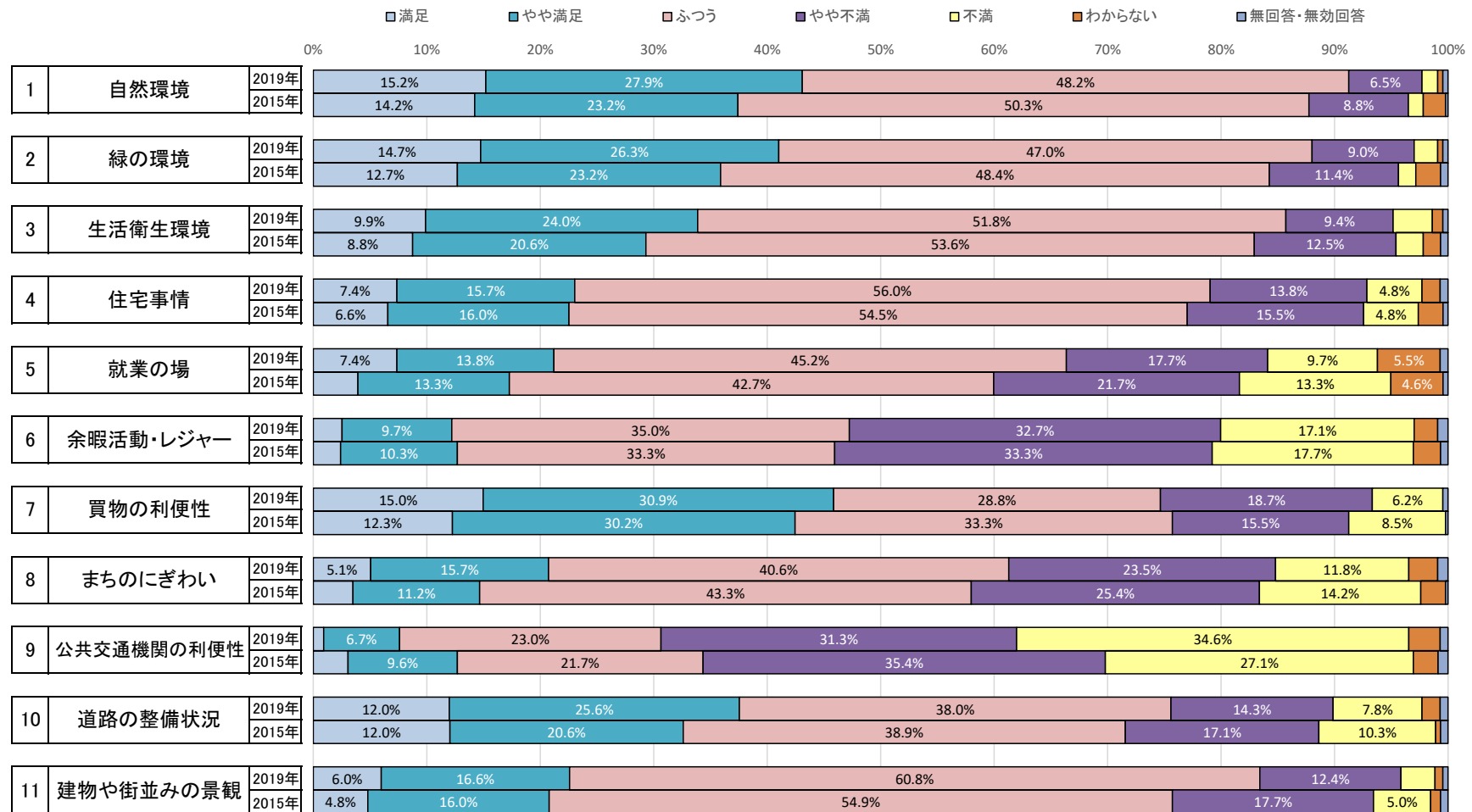
市民アンケート概要

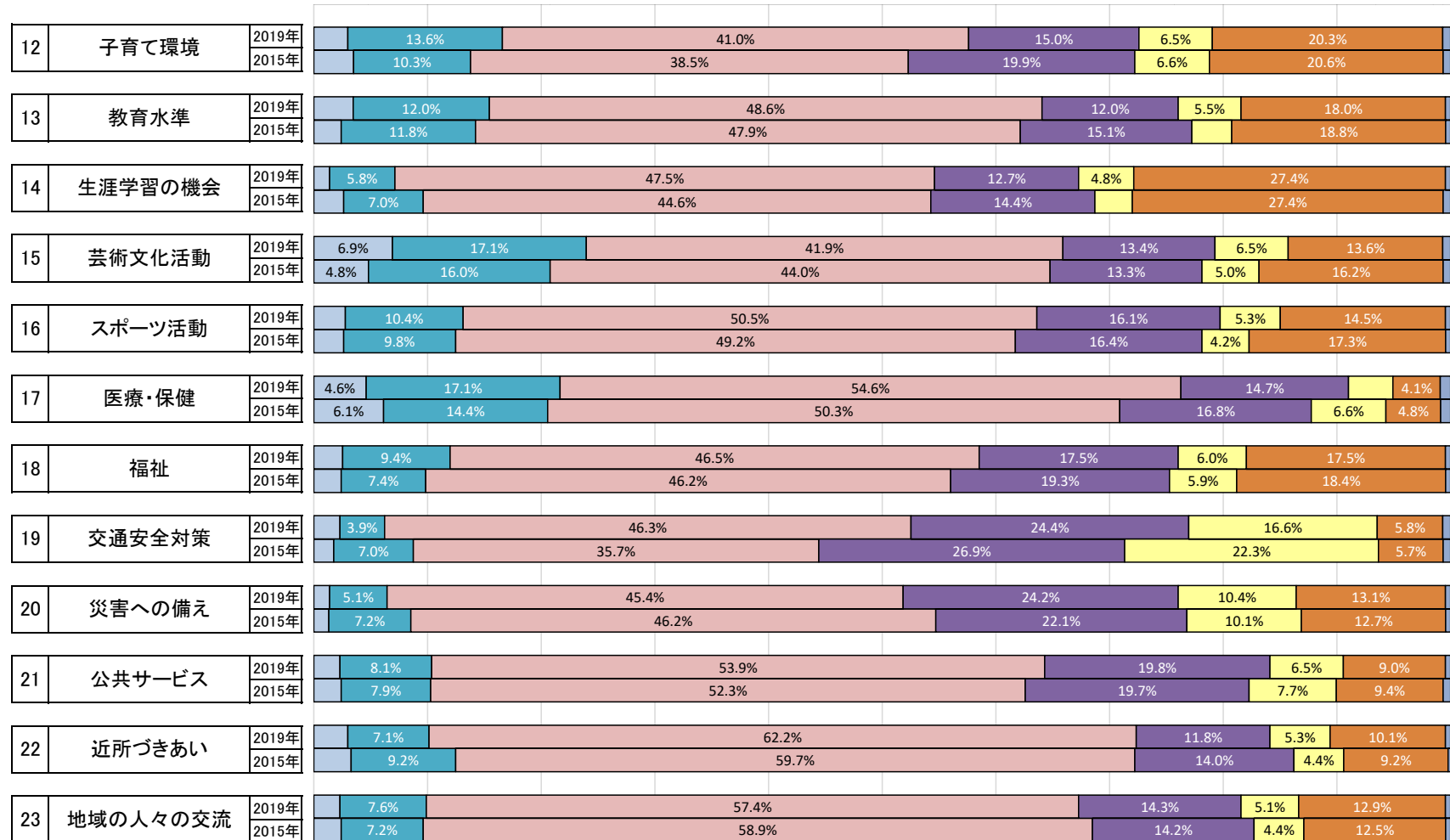
調査目的	第2期たかまつ創生総合戦略策定にあたり、アンケートを実施し、市政に対する評価等を統計的に把握し、総合戦略の検討に活用する。						
調査期間	令和元年6月～7月						
調査対象	18歳以上49歳以下の市民1,500人						
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出						
調査方法	郵送						
回収状況	<table> <tr> <td>配布件数</td><td>1,500 件</td></tr> <tr> <td>回答件数</td><td>434 件</td></tr> <tr> <td>回答率</td><td>28.93 %</td></tr> </table>	配布件数	1,500 件	回答件数	434 件	回答率	28.93 %
配布件数	1,500 件						
回答件数	434 件						
回答率	28.93 %						

※ 各図表の集計結果は、百分率（％）により、小数第2位を四捨五入して表示しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

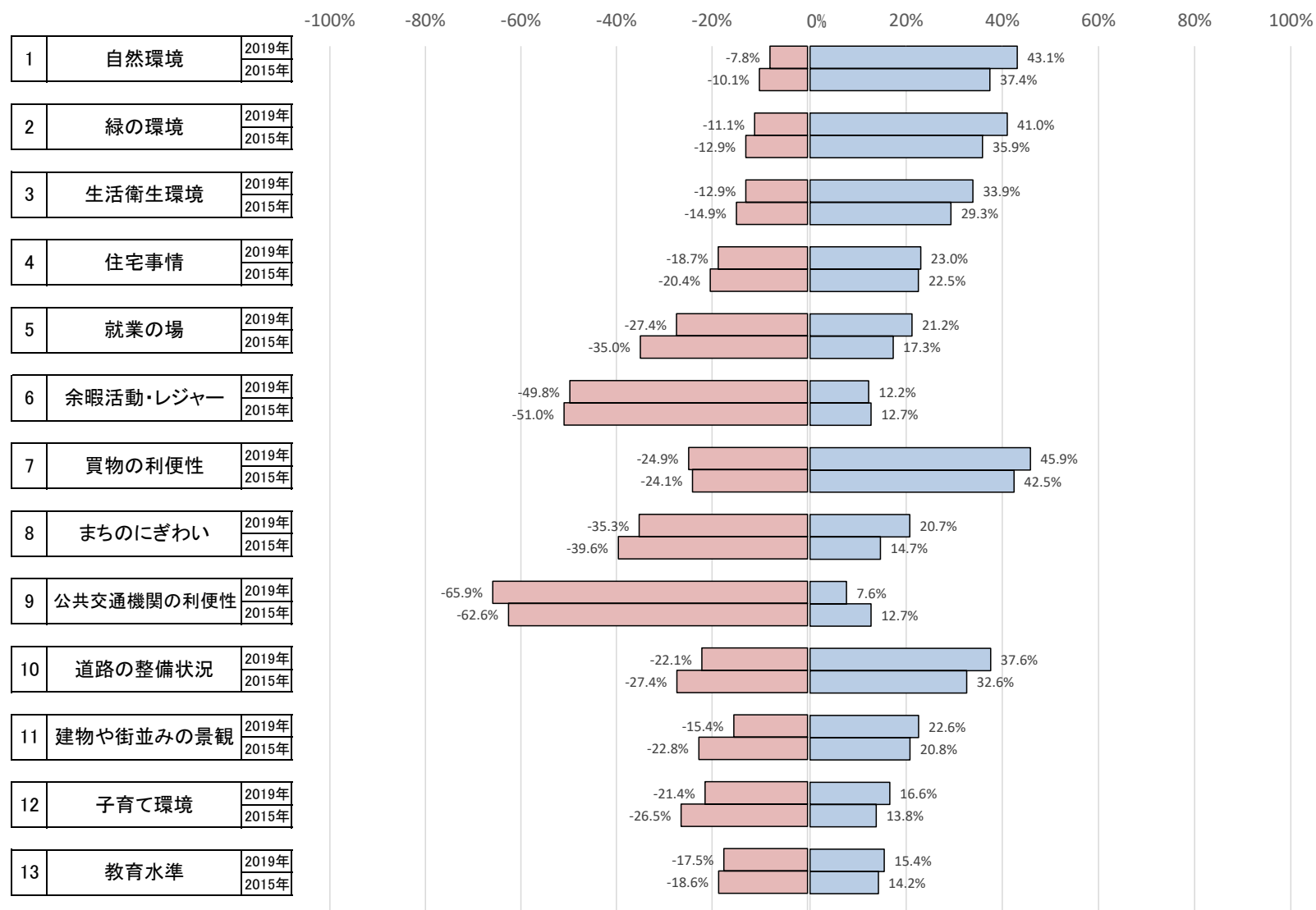
◆「高松のまち」について

問1 今の高松のまちに対してどの程度満足していますか？

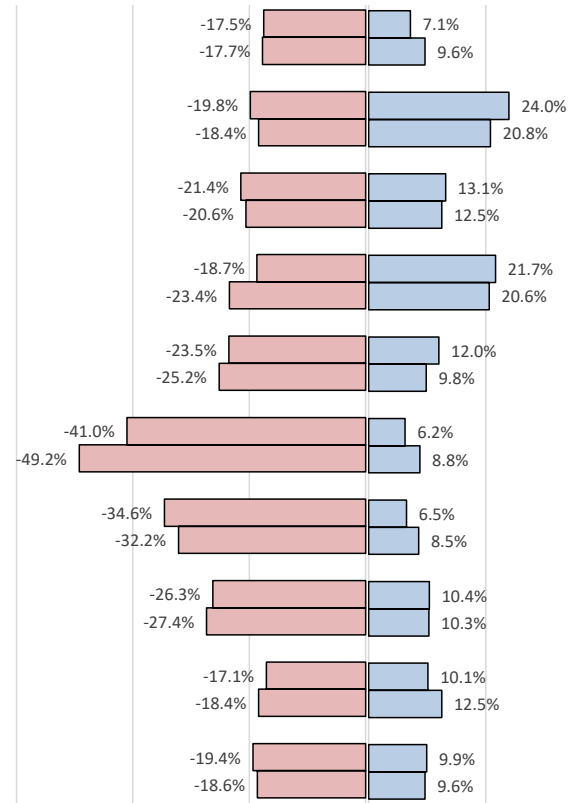




項目ごとの満足度「(満足+やや満足)→プラス」、「(やや不満+不満)→マイナス」

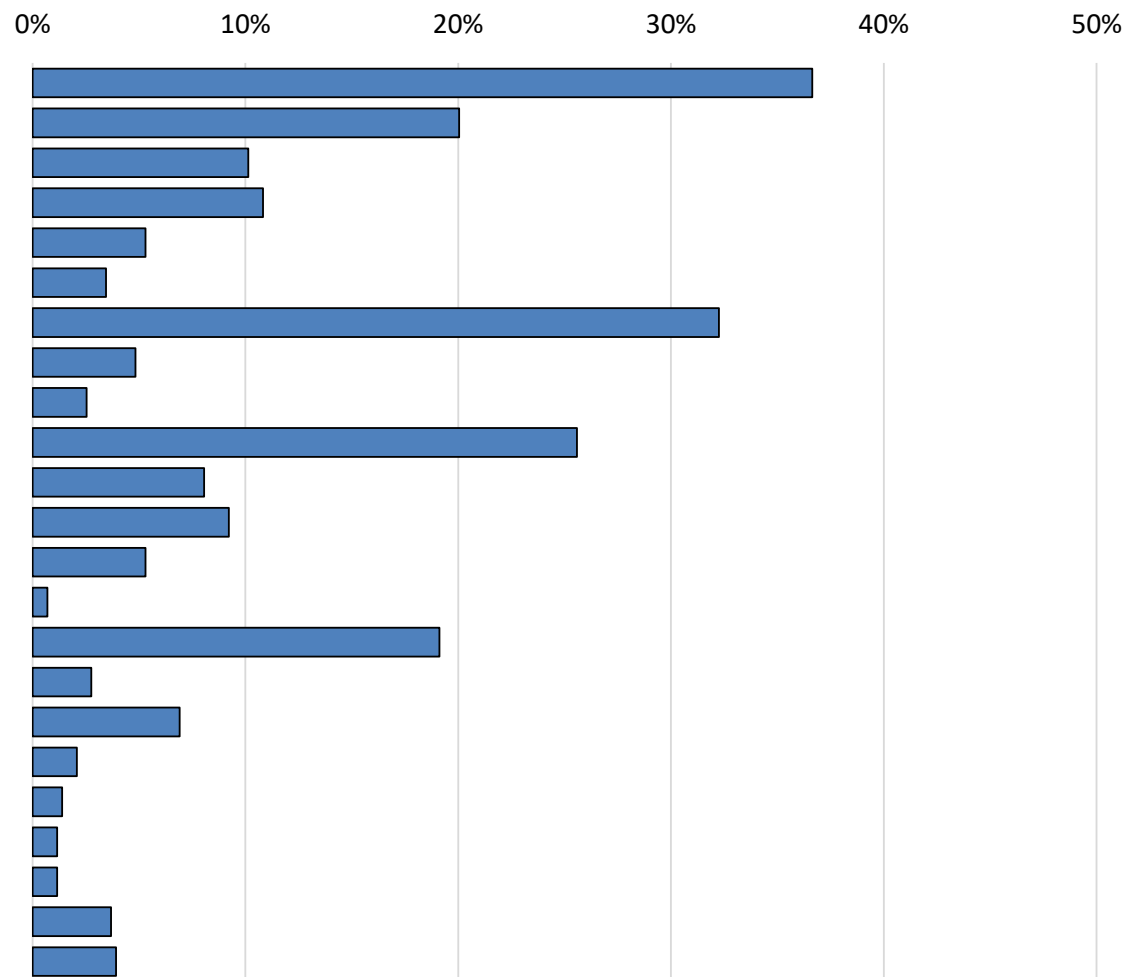


14	生涯学習の機会	2019年
		2015年
15	芸術文化活動	2019年
		2015年
16	スポーツ活動	2019年
		2015年
17	医療・保健	2019年
		2015年
18	福祉	2019年
		2015年
19	交通安全対策	2019年
		2015年
20	災害への備え	2019年
		2015年
21	公共サービス	2019年
		2015年
22	近所づきあい	2019年
		2015年
23	地域の人々の交流	2019年
		2015年



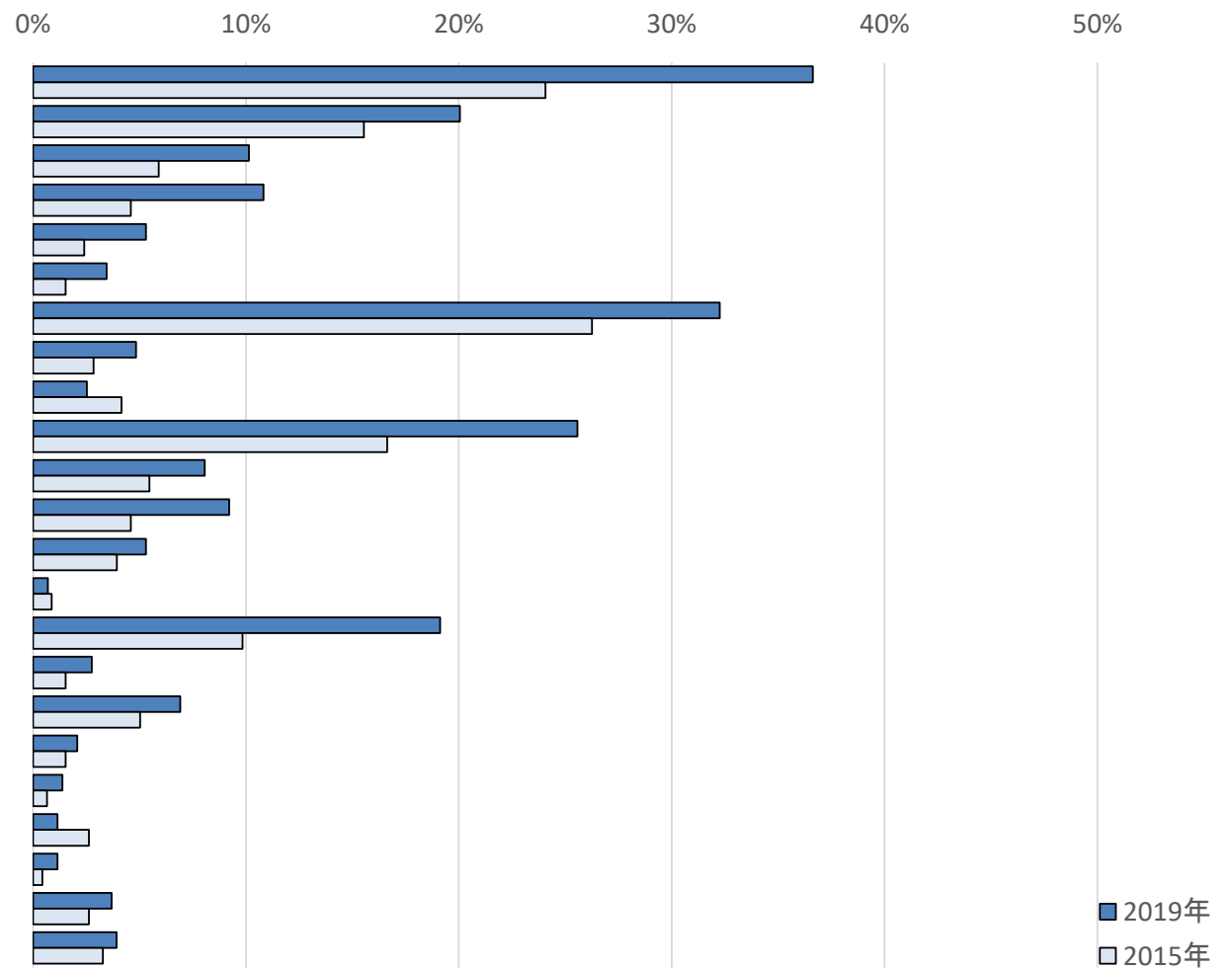
問2 問1の項目のうち、高松市の魅力や誇れるものは何だと思いますか？（3つまで選択）

項目		回答数	割合
1	自然環境	159	36.6%
2	緑の環境	87	20.0%
3	生活衛生環境	44	10.1%
4	住宅事情	47	10.8%
5	就業の場	23	5.3%
6	余暇活動・レジャー	15	3.5%
7	買物の利便性	140	32.3%
8	まちのにぎわい	21	4.8%
9	公共交通機関の利便性	11	2.5%
10	道路の整備状況	111	25.6%
11	建物や街並みの景観	35	8.1%
12	子育て環境	40	9.2%
13	教育水準	23	5.3%
14	生涯学習の機会	3	0.7%
15	芸術文化活動	83	19.1%
16	スポーツ活動	12	2.8%
17	医療・保健	30	6.9%
18	福祉	9	2.1%
19	交通安全対策	6	1.4%
20	災害への備え	5	1.2%
21	公共サービス	5	1.2%
22	近所づきあい	16	3.7%
23	地域の人々の交流	17	3.9%



n=434

項目		2019年	2015年
1	自然環境	36.6%	24.1%
2	緑の環境	20.0%	15.5%
3	生活衛生環境	10.1%	5.9%
4	住宅事情	10.8%	4.6%
5	就業の場	5.3%	2.4%
6	余暇活動・レジャー	3.5%	1.5%
7	買物の利便性	32.3%	26.3%
8	まちのにぎわい	4.8%	2.8%
9	公共交通機関の利便性	2.5%	4.2%
10	道路の整備状況	25.6%	16.6%
11	建物や街並みの景観	8.1%	5.5%
12	子育て環境	9.2%	4.6%
13	教育水準	5.3%	3.9%
14	生涯学習の機会	0.7%	0.9%
15	芸術文化活動	19.1%	9.8%
16	スポーツ活動	2.8%	1.5%
17	医療・保健	6.9%	5.0%
18	福祉	2.1%	1.5%
19	交通安全対策	1.4%	0.7%
20	災害への備え	1.2%	2.6%
21	公共サービス	1.2%	0.4%
22	近所づきあい	3.7%	2.6%
23	地域の人々の交流	3.9%	3.3%

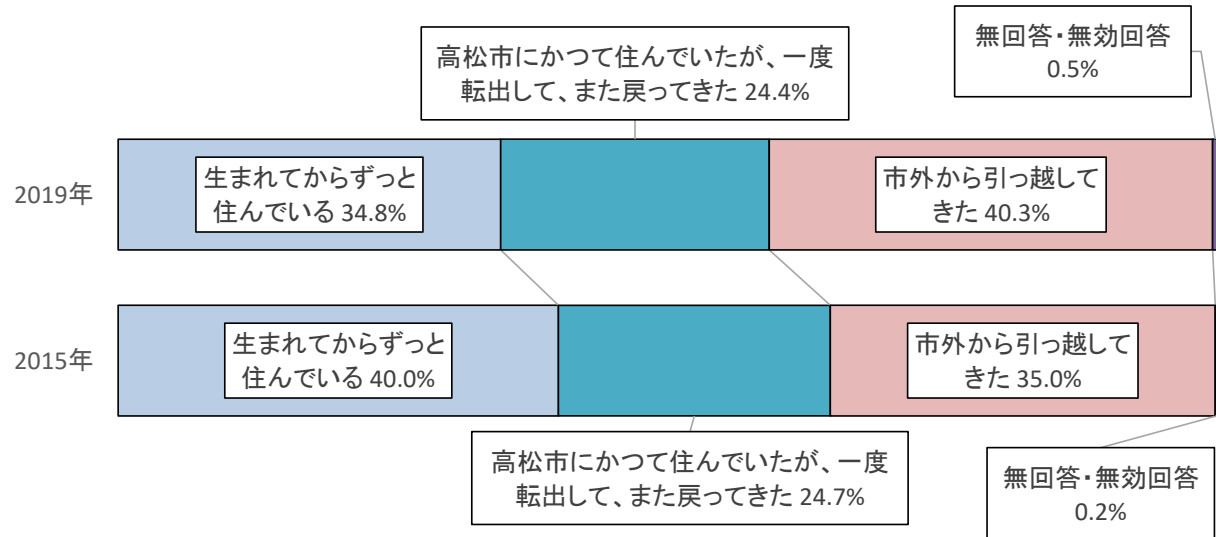


◆「高松市での居住」について

問3 これまでずっと高松市にお住まいですか？（合併前の地域を含む）

選択肢	回答数	割合
生まれてからずっと住んでいる	151	34.8%
高松市にかつて住んでいたが、一度転出して、また戻ってきた	106	24.4%
市外から引っ越してきた	175	40.3%
無回答・無効回答	2	0.5%
合計	434	100.0%

選択肢	2019年	2015年
生まれてからずっと住んでいる	34.8%	40.0%
高松市にかつて住んでいたが、一度転出して、また戻ってきた	24.4%	24.7%
市外から引っ越してきた	40.3%	35.0%
無回答・無効回答	0.5%	0.2%
合計	100.0%	100.0%



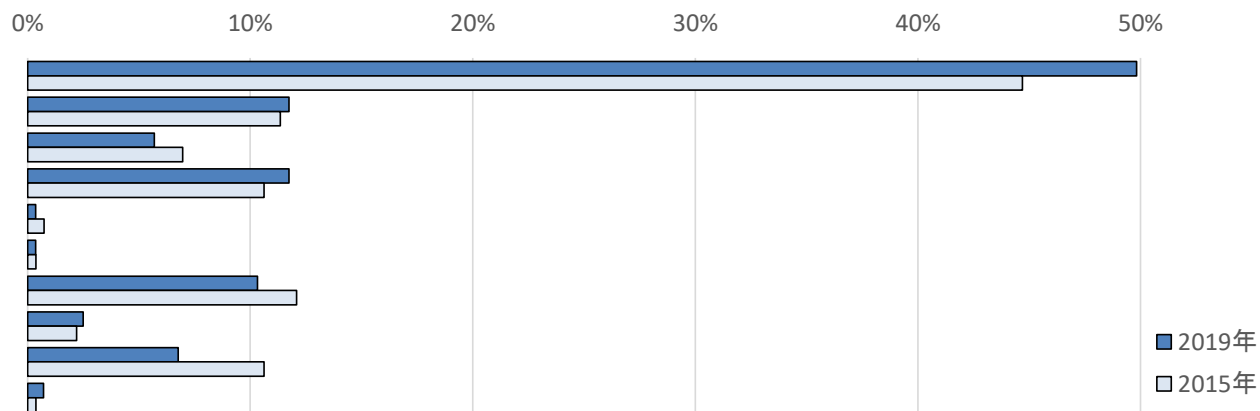
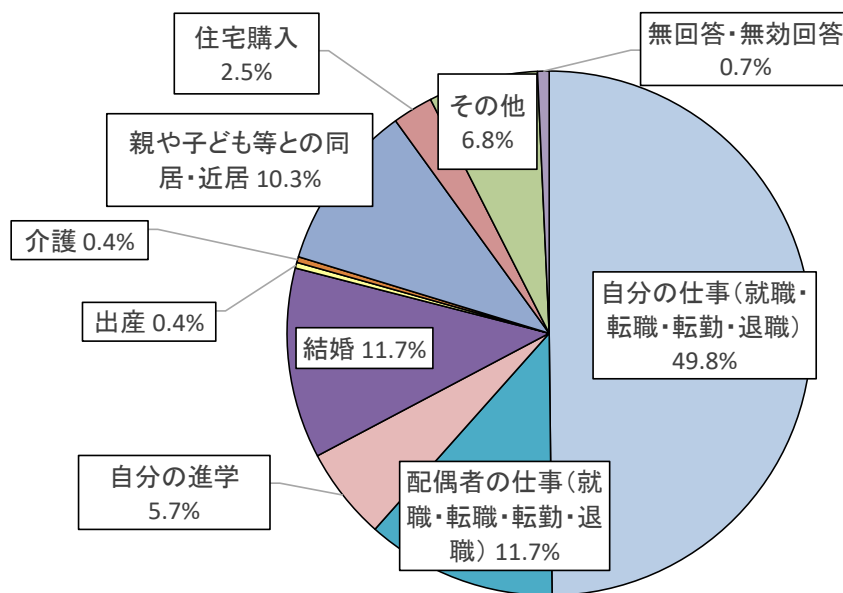
問4 あなたが高松市に住むようになったきっかけは何ですか？

(問3で「高松市にかつて住んでいたが、一度転出して、また戻ってきた」「市外から引っ越してきた」と回答した人)

選択肢	回答数	割合
自分の仕事(就職・転職・転勤・退職)	140	49.8%
配偶者の仕事(就職・転職・転勤・退職)	33	11.7%
自分の進学	16	5.7%
結婚	33	11.7%
出産	1	0.4%
介護	1	0.4%
親や子ども等との同居・近居	29	10.3%
住宅購入	7	2.5%
その他	19	6.8%
無回答・無効回答	2	0.7%
合計	281	100.0%

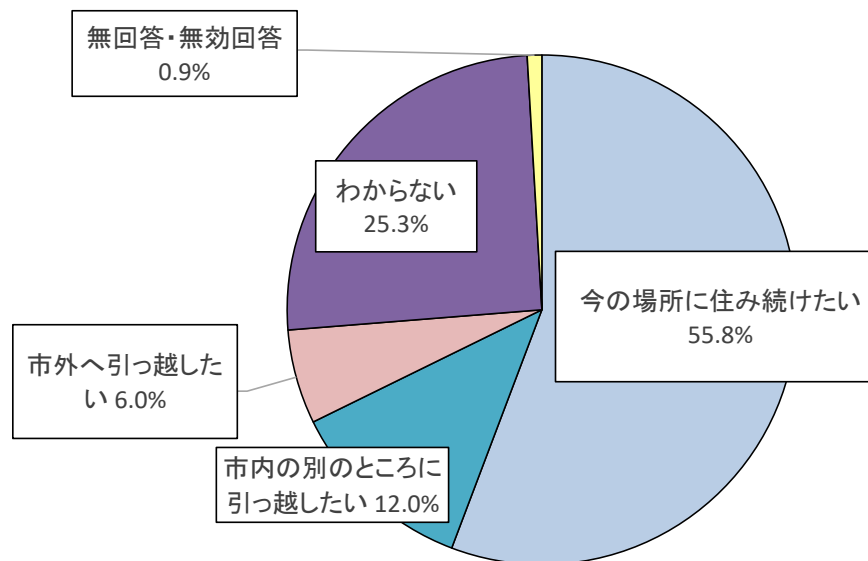
その他
親の転勤 一人暮らしする為 離婚

選択肢	2019年	2015年
自分の仕事(就職・転職・転勤・退職)	49.8%	44.7%
配偶者の仕事(就職・転職・転勤・退職)	11.7%	11.4%
自分の進学	5.7%	7.0%
結婚	11.7%	10.6%
出産	0.4%	0.7%
介護	0.4%	0.4%
親や子ども等との同居・近居	10.3%	12.1%
住宅購入	2.5%	2.2%
その他	6.8%	10.6%
無回答・無効回答	0.7%	0.4%
合計	100.0%	100.0%

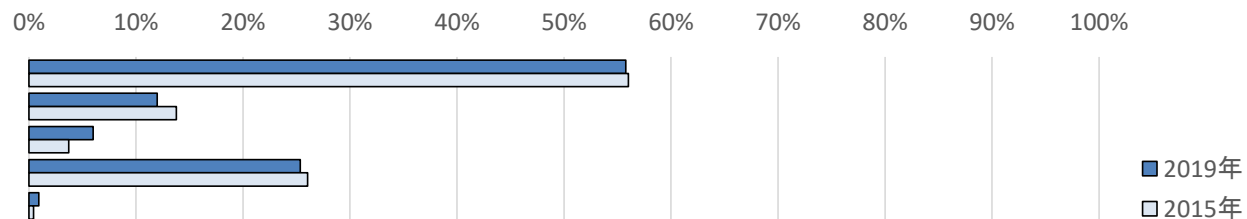


問5 これからも高松市に住み続けたいですか？

選択肢	回答数	割合
今の場所に住み続けたい	242	55.8%
市内の別のところに引っ越したい	52	12.0%
市外へ引っ越したい	26	6.0%
わからない	110	25.3%
無回答・無効回答	4	0.9%
合計	434	100.0%

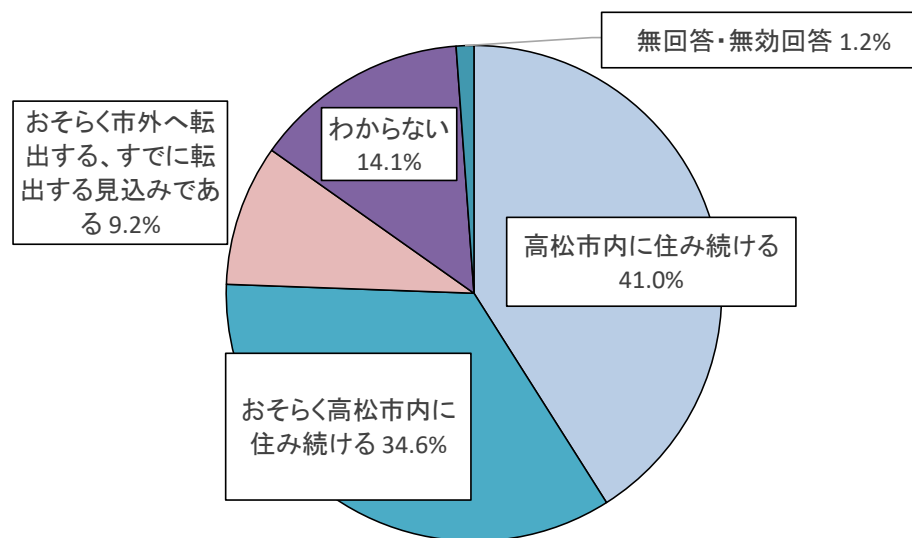


選択肢	2019年	2015年
今の場所に住み続けたい	55.8%	56.0%
市内の別のところに引っ越したい	12.0%	13.8%
市外へ引っ越したい	6.0%	3.7%
わからない	25.3%	26.0%
無回答・無効回答	0.9%	0.4%
合計	100.0%	100.0%

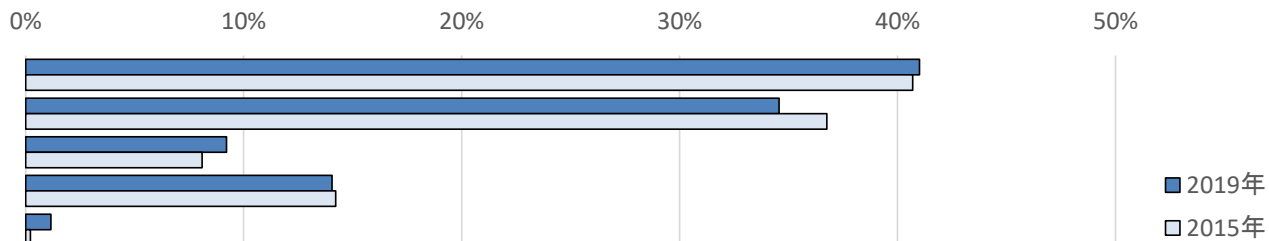


問6 今後も、高松市に住み続けることができますか？

選択肢	回答数	割合
高松市内に住み続ける	178	41.0%
おそらく高松市内に住み続ける	150	34.6%
おそらく市外へ転出する、すでに転出する見込みである	40	9.2%
わからない	61	14.1%
無回答・無効回答	5	1.2%
合計	434	100.0%



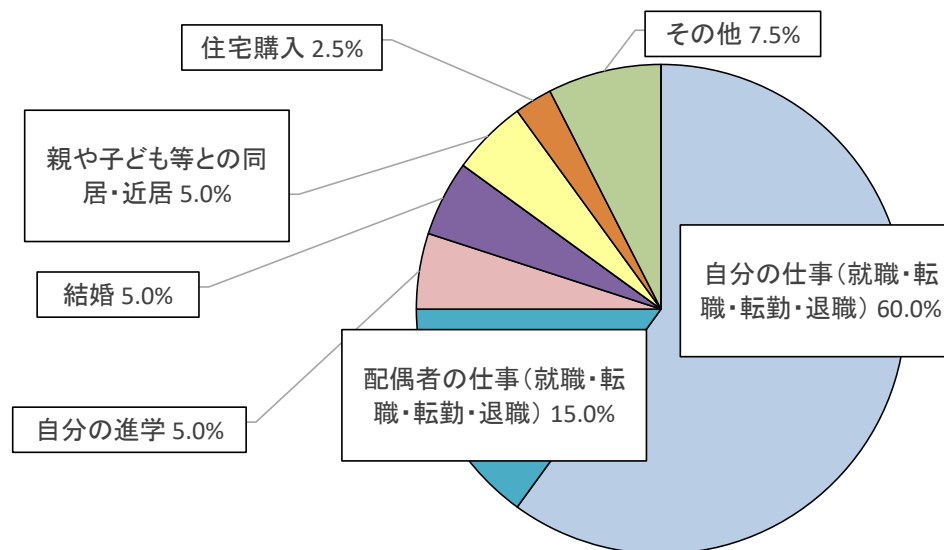
選択肢	2019年	2015年
高松市内に住み続ける	41.0%	40.7%
おそらく高松市内に住み続ける	34.6%	36.8%
おそらく市外へ転出する、すでに転出する見込みである	9.2%	8.1%
わからない	14.1%	14.2%
無回答・無効回答	1.2%	0.2%
合計	100.0%	100.0%



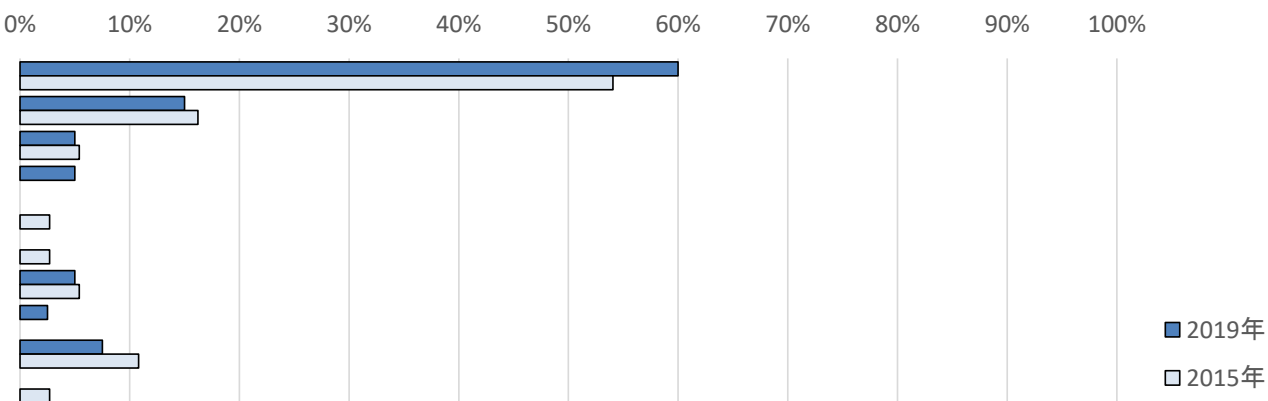
問7 問6で、「おそらく市外へ転出する、すでに転出する見込みである」を選択した方は、その理由は何ですか？

選択肢	回答数	割合
自分の仕事(就職・転職・転勤・退職)	24	60.0%
配偶者の仕事(就職・転職・転勤・退職)	6	15.0%
自分の進学	2	5.0%
結婚	2	5.0%
出産	0	0.0%
介護	0	0.0%
親や子ども等との同居・近居	2	5.0%
住宅購入	1	2.5%
その他	3	7.5%
無回答・無効回答	0	0.0%
合計	40	100.0%

その他
香川県が不便
香川県並びに高松市に魅力を感じない為

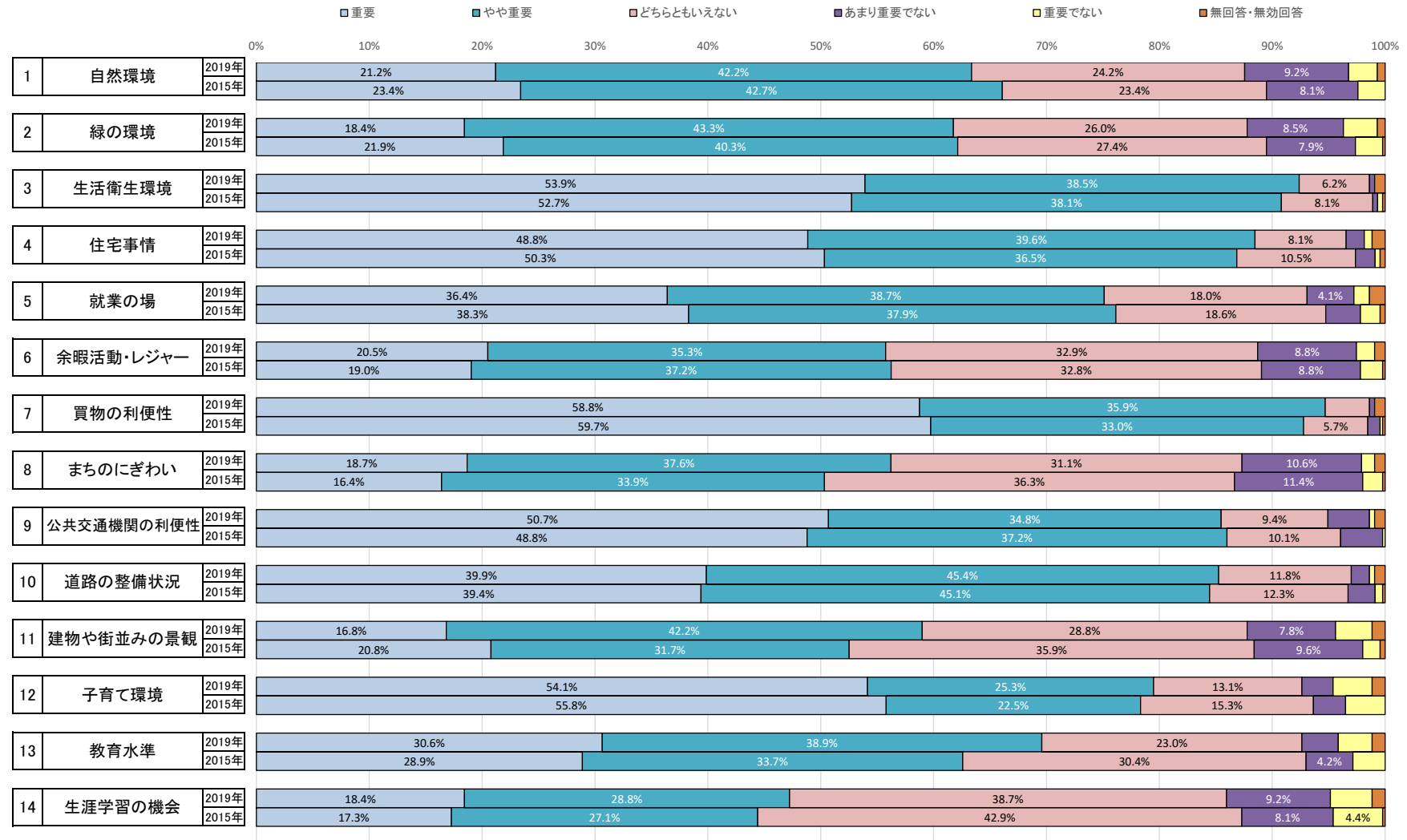


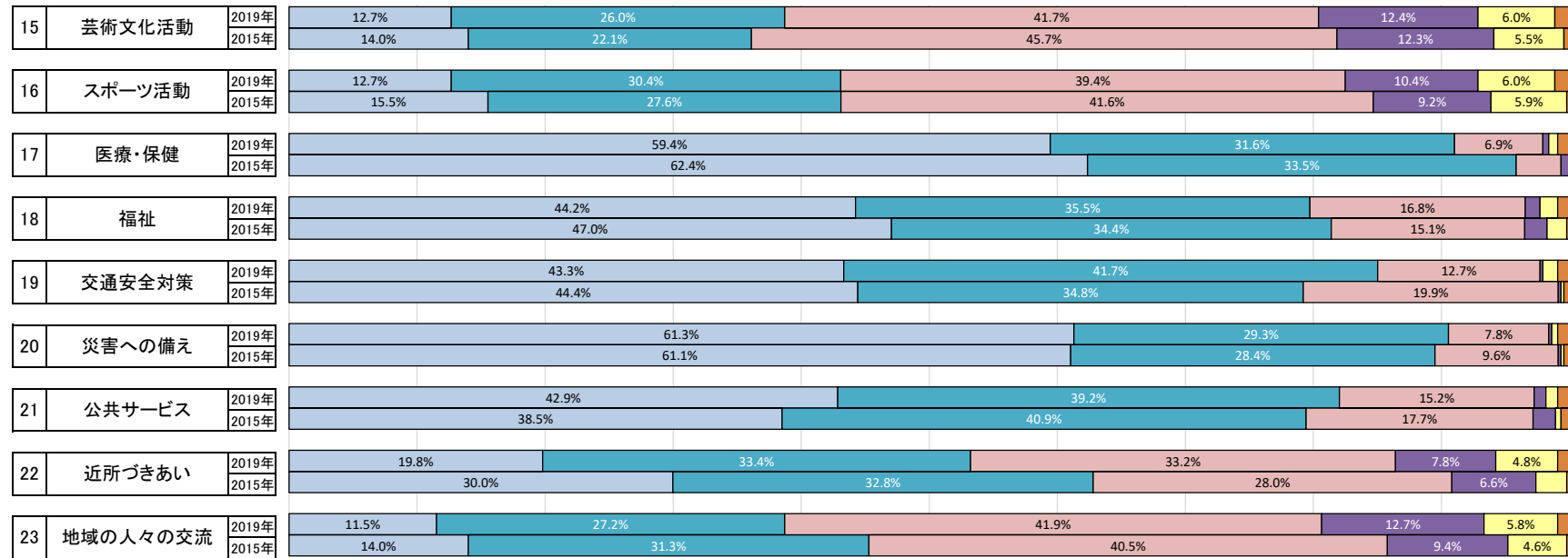
選択肢	2019年	2015年
自分の仕事(就職・転職・転勤・退職)	60.0%	54.1%
配偶者の仕事(就職・転職・転勤・退職)	15.0%	16.2%
自分の進学	5.0%	5.4%
結婚	5.0%	0.0%
出産	0.0%	2.7%
介護	0.0%	2.7%
親や子ども等との同居・近居	5.0%	5.4%
住宅購入	2.5%	0.0%
その他	7.5%	10.8%
無回答・無効回答	0.0%	2.7%
合計	100.0%	100.0%



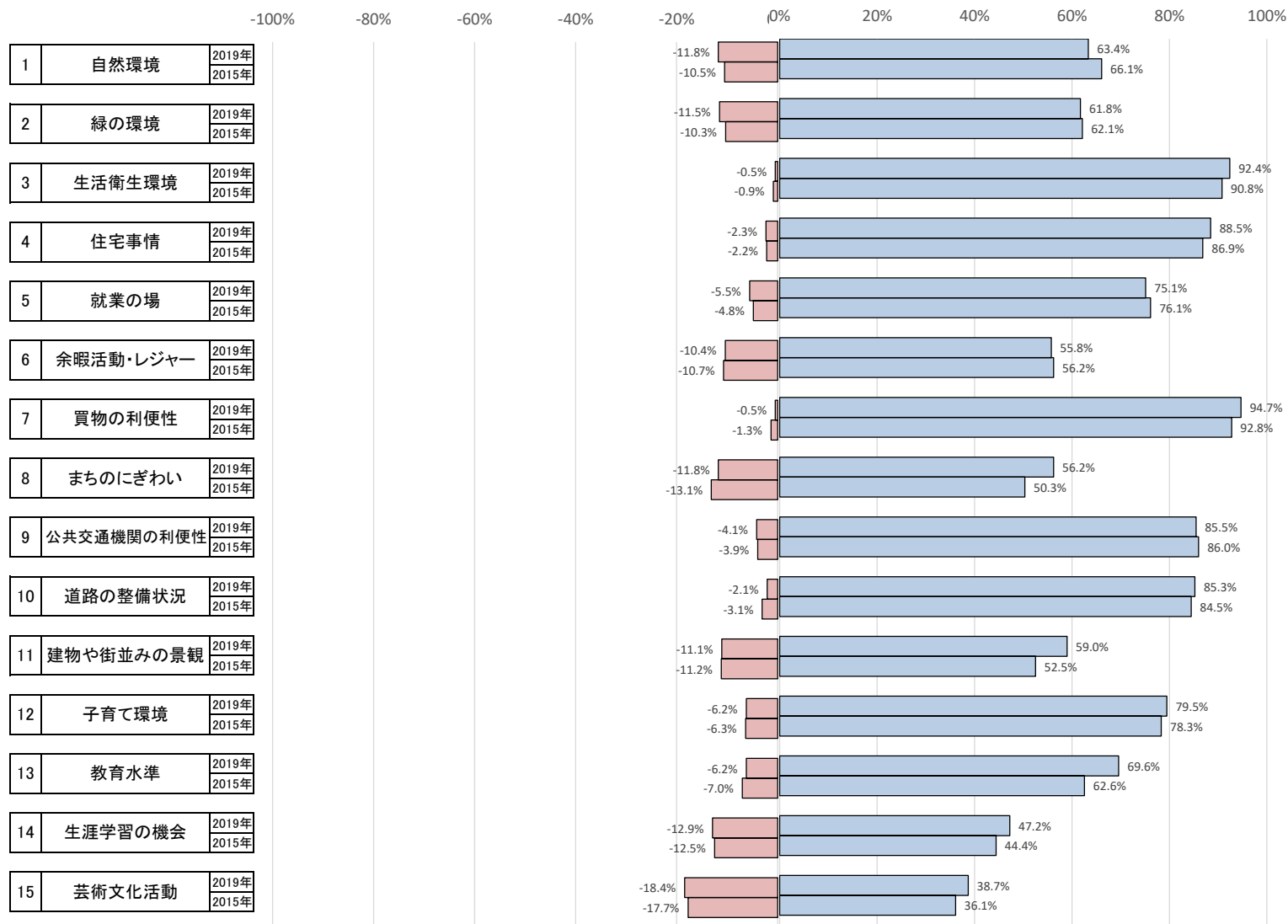
◆「居住地の選択」について

問8 あなたが居住地を選択ときに重視することは何ですか？

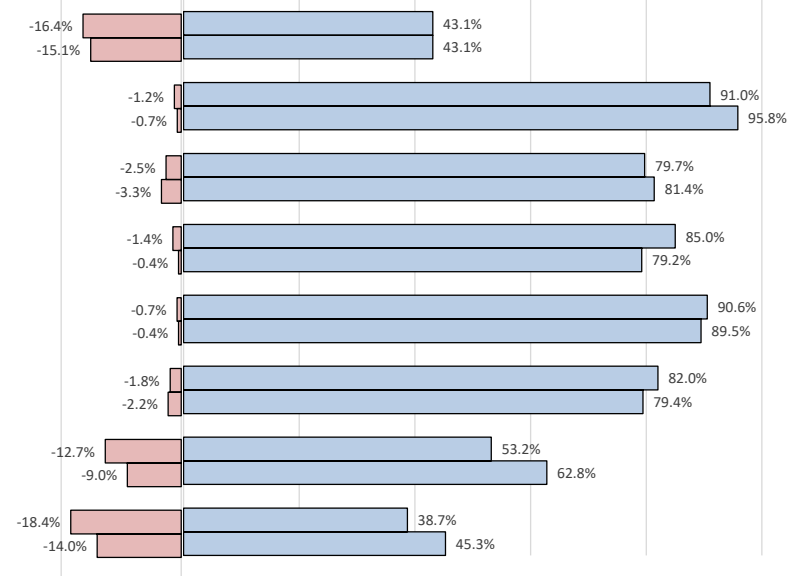




項目ごとの重要度「(重要＋やや重要)→プラス」、「(あまり重要でない＋重要でない)→マイナス」

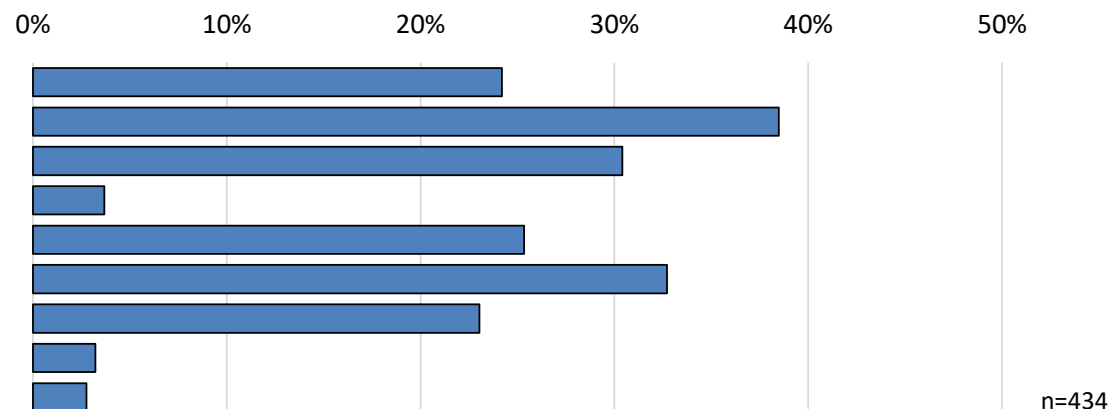


16	スポーツ活動	2019年
		2015年
17	医療・保健	2019年
		2015年
18	福祉	2019年
		2015年
19	交通安全対策	2019年
		2015年
20	災害への備え	2019年
		2015年
21	公共サービス	2019年
		2015年
22	近所づきあい	2019年
		2015年
23	地域の人々の交流	2019年
		2015年



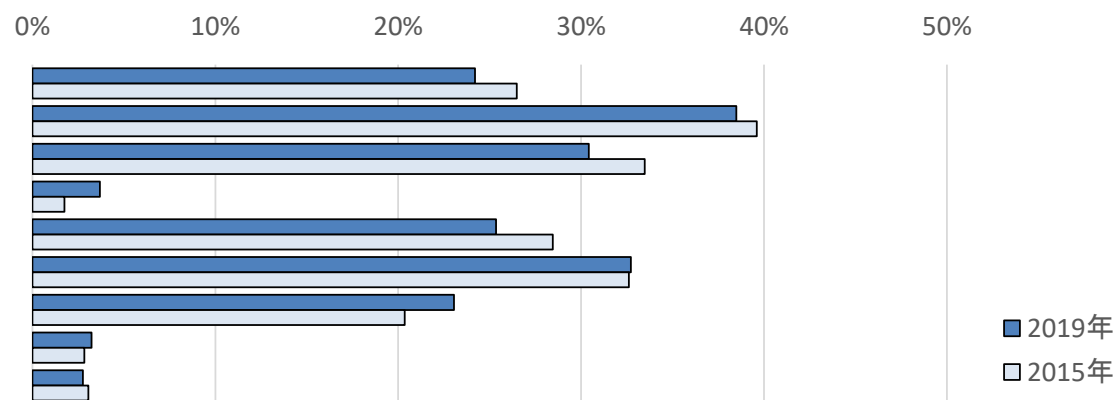
問9 居住地を選択する場合、どのような支援が必要だと思いますか？（2つまで選択）

選択肢	回答数	割合
移住・定住についての支援	105	24.2%
住宅についての支援	167	38.5%
就業についての支援	132	30.4%
起業についての支援	16	3.7%
出産・育児についての支援	110	25.3%
保育・教育についての支援	142	32.7%
子どもの医療費への支援	100	23.0%
その他	14	3.2%
無回答・無効回答	12	2.8%



その他
医療、福祉
福祉・交通
老後のこと
ペットに関する支援
大人への医療費の支援
災害に強い
何か困ったことがあれば相談できる機関がある
自動車が無くても移動しやすい
車に依存しないライフスタイルの支援

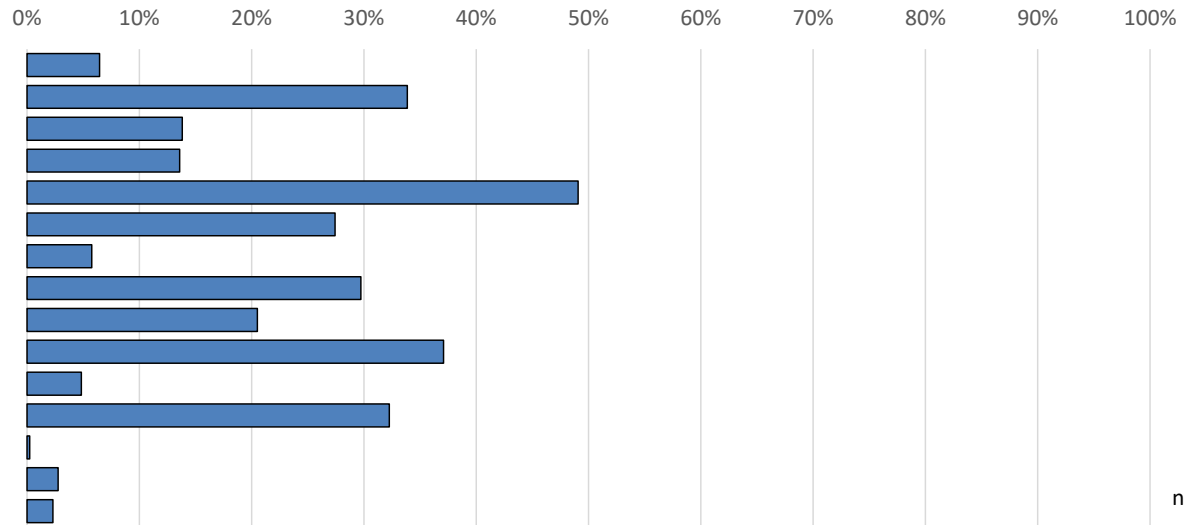
選択肢	2019年	2015年
移住・定住についての支援	24.2%	26.5%
住宅についての支援	38.5%	39.6%
就業についての支援	30.4%	33.5%
起業についての支援	3.7%	1.8%
出産・育児についての支援	25.3%	28.4%
保育・教育についての支援	32.7%	32.6%
子どもの医療費への支援	23.0%	20.4%
その他	3.2%	2.8%
無回答・無効回答	2.8%	3.1%



◆「就職・雇用」について

問10 あなたが就職先を探そうとする場合、どのようなことを重視しますか？（3つまで選択）

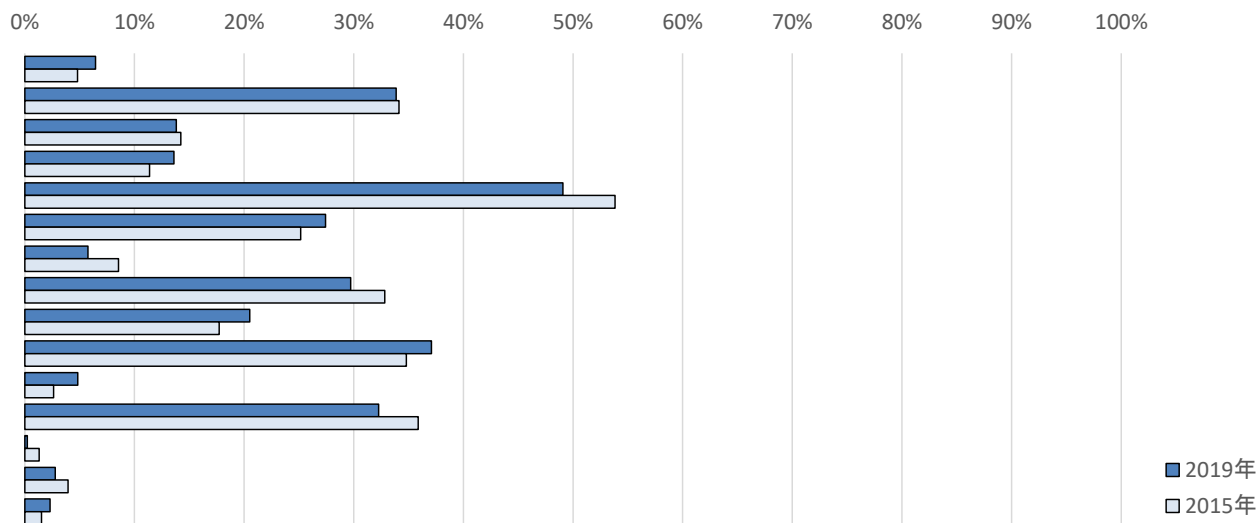
	選択肢	回答数	割合
1	大企業（有名企業）である	28	6.5%
2	自分の技術や資格を活かせる	147	33.9%
3	自分の夢を実現できる	60	13.8%
4	人や地域のためになる	59	13.6%
5	雇用が安定している（将来性がある）	213	49.1%
6	高収入である	119	27.4%
7	男女格差がない	25	5.8%
8	福利厚生が充実している	129	29.7%
9	残業が少ない	89	20.5%
10	休みがとりやすい	161	37.1%
11	高度な技術がある	21	4.8%
12	通勤が便利（転勤がない）	140	32.3%
13	先輩や友人がいる	1	0.2%
14	就職先周辺の住環境が良い	12	2.8%
15	その他	10	2.3%



n=434

その他
家庭事情を理解してくれる
人間関係
やりがいがある
子育てをしながらでも働きやすい
働く人の環境が良い
職場の近くに居住地がたくさんある
ハラスメントがない
経営理念

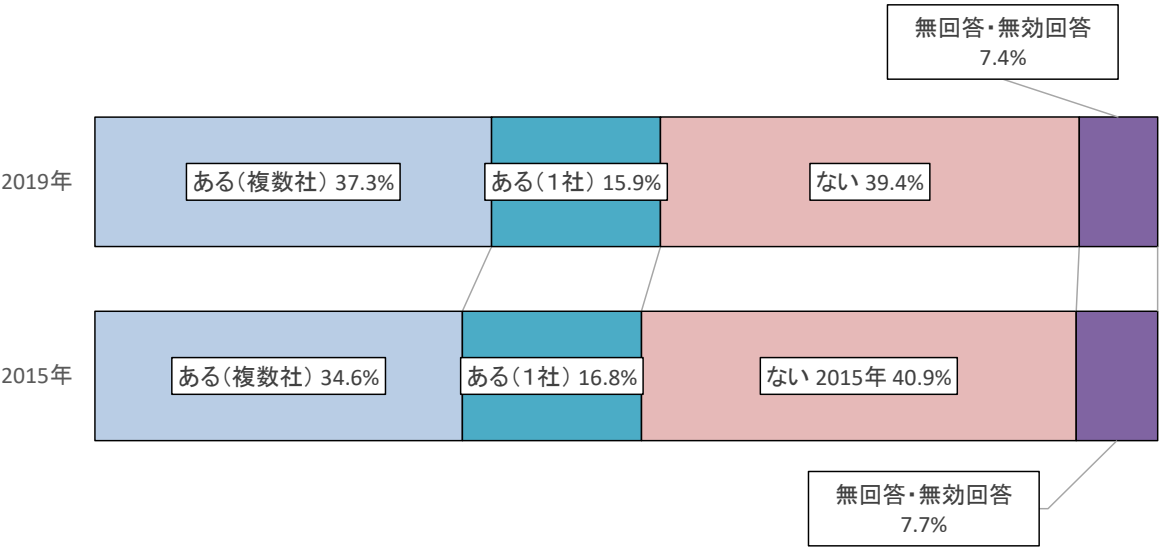
選択肢		2019年	2015年
1	大企業(有名企業)である	6.5%	4.8%
2	自分の技術や資格を活かせる	33.9%	34.1%
3	自分の夢を実現できる	13.8%	14.2%
4	人や地域のためになる	13.6%	11.4%
5	雇用が安定している(将来性がある)	49.1%	53.8%
6	高収入である	27.4%	25.2%
7	男女格差がない	5.8%	8.5%
8	福利厚生が充実している	29.7%	32.8%
9	残業が少ない	20.5%	17.7%
10	休みがとりやすい	37.1%	34.8%
11	高度な技術がある	4.8%	2.6%
12	通勤が便利(転勤がない)	32.3%	35.9%
13	先輩や友人がいる	0.2%	1.3%
14	就職先周辺の住環境が良い	2.8%	3.9%
15	その他	2.3%	1.5%



問11 高松市内に、問10で選択した項目を満たす企業はありますか？

選択肢	回答数	割合
ある(複数社)	162	37.3%
ある(1社)	69	15.9%
ない	171	39.4%
無回答・無効回答	32	7.4%
合計	434	100.0%

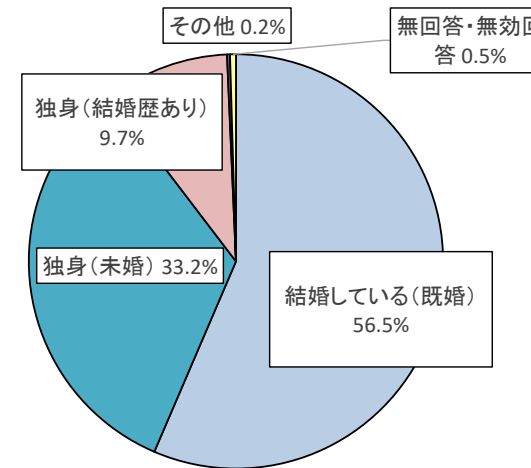
選択肢	2019年	2015年
ある(複数社)	37.3%	34.6%
ある(1社)	15.9%	16.8%
ない	39.4%	40.9%
無回答・無効回答	7.4%	7.7%
合計	100.0%	100.0%



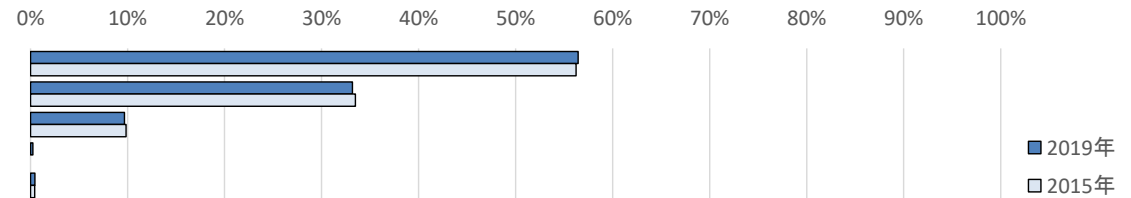
◆「結婚・出産・子育て」について

問12 あなたは現在結婚していますか？

選択肢	回答数	割合
結婚している(既婚)	245	56.5%
独身(未婚)	144	33.2%
独身(結婚歴あり)	42	9.7%
その他	1	0.2%
無回答・無効回答	2	0.5%
合計	434	100.0%

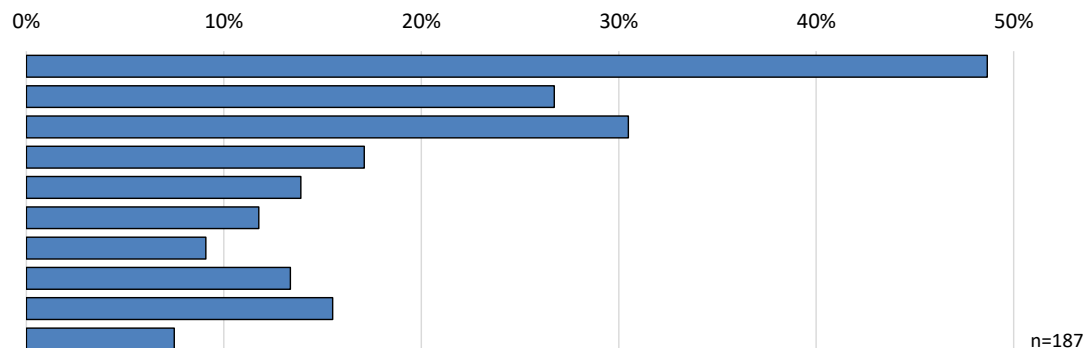


選択肢	2019年	2015年
結婚している(既婚)	56.5%	56.2%
独身(未婚)	33.2%	33.5%
独身(結婚歴あり)	9.7%	9.8%
その他	0.2%	0.0%
無回答・無効回答	0.5%	0.4%
合計	100.0%	100.0%

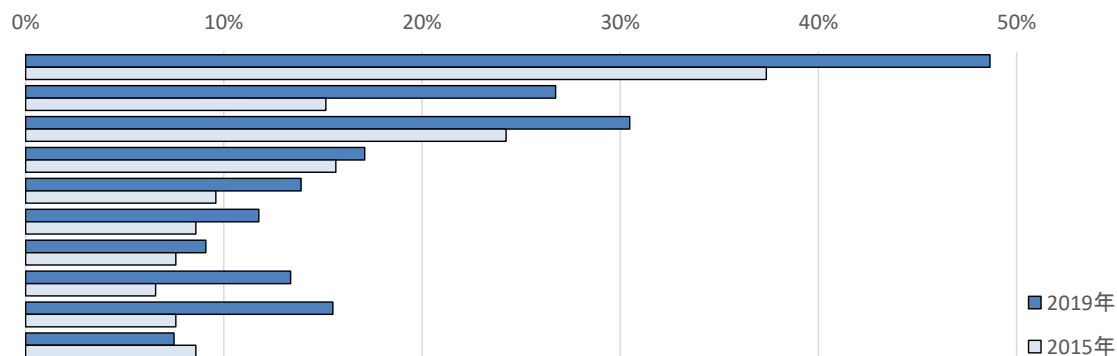


問13 《問12で、「独身(未婚)」、「独身(結婚歴あり)」、「その他」を選択した方にお伺いします》結婚していない理由について、あなたの考えに近いものをお選び下さい。(3つまで選択)

選択肢	回答数	割合
結婚したいと思える相手がいない	91	48.7%
家族を養うほどの収入がない	50	26.7%
精神的に自由でいられる	57	30.5%
経済的に自由でいられる	32	17.1%
異性とうまくつきあえない	26	13.9%
仕事(学業)に専念したい	22	11.8%
結婚資金が足りない	17	9.1%
まだ若すぎる	25	13.4%
結婚するつもりはない	29	15.5%
その他	14	7.5%



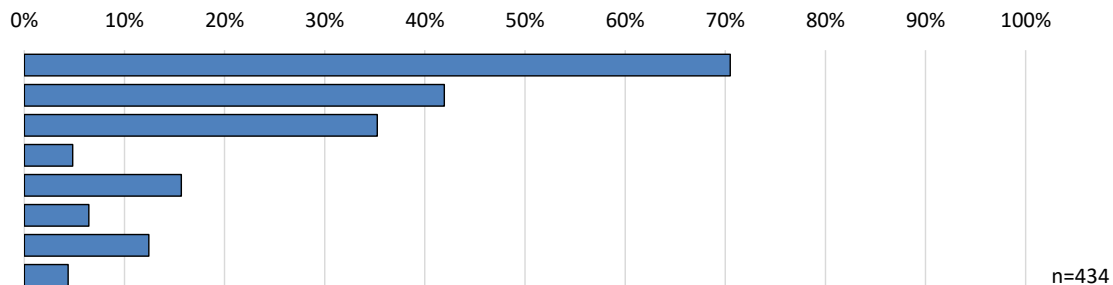
選択肢	2019年	2015年
結婚したいと思える相手がいない	48.7%	37.4%
家族を養うほどの収入がない	26.7%	15.2%
精神的に自由でいられる	30.5%	24.2%
経済的に自由でいられる	17.1%	15.7%
異性とうまくつきあえない	13.9%	9.6%
仕事(学業)に専念したい	11.8%	8.6%
結婚資金が足りない	9.1%	7.6%
まだ若すぎる	13.4%	6.6%
結婚するつもりはない	15.5%	7.6%
その他	7.5%	8.6%



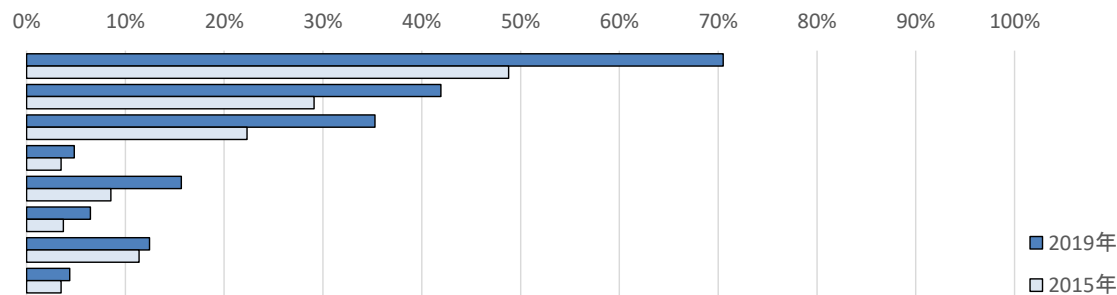
その他
支えあうパートナーは欲しいが、結婚は年齢的にもメリットがない。
自信がない
必要性がまだわからない
特に考えていない
離婚したばかりだから
子どもが欲しくない
婚約中で近々結婚予定
持病がある
年内結婚予定
8月結婚予定

問14 結婚しやすい環境をつくるためには、どのような支援があれば良いと思いますか？（3つまで選択）

選択肢	回答数	割合
安定した雇用の確保	306	70.5%
結婚に係る経済的支援	182	41.9%
婚活イベントなど出会いの場の提供	153	35.3%
交際術やマナーなどを学ぶ講座	21	4.8%
結婚相談窓口（仲立ち）	68	15.7%
若い世代（中学生・高校生）への結婚に関する講習会	28	6.5%
支援は必要ない	54	12.4%
その他	19	4.4%



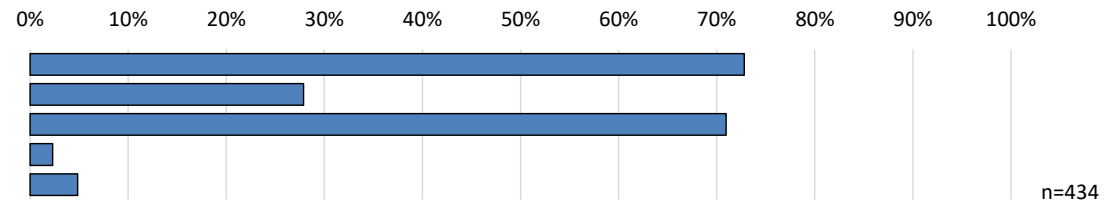
選択肢	2019年	2015年
安定した雇用の確保	70.5%	48.8%
結婚に係る経済的支援	41.9%	29.1%
婚活イベントなど出会いの場の提供	35.3%	22.3%
交際術やマナーなどを学ぶ講座	4.8%	3.5%
結婚相談窓口（仲立ち）	15.7%	8.5%
若い世代（中学生・高校生）への結婚に関する講習会	6.5%	3.7%
支援は必要ない	12.4%	11.4%
その他	4.4%	3.5%



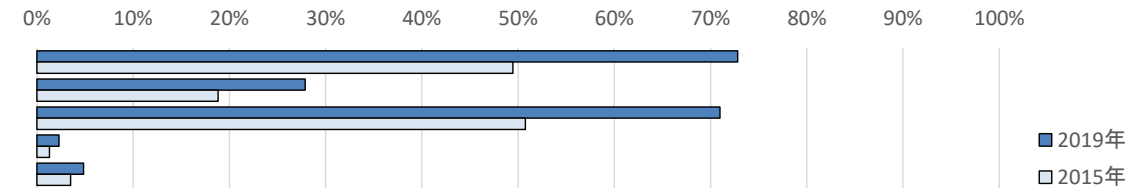
その他
レジャー場所
子供へのサポート
結婚世代の趣味を楽しむ時間の確保の支援。→仕事が忙しすぎる！
子供の頃からの環境
高度経済成長
結婚へのメリットを作る。結婚していない人への課税など
モデル講座
無意味な校則の見直し。無能な教員の見直し
保護者等の保育についての支援
結婚後の生活の支援
老人が住みたいと思えるおしゃれな居住地域や街並みを作る。ドラマに出てくるような横浜など、緑あふれる街並みなど
子どものすばらしさを感じてもらえる機会づくり
育ってきた家庭環境
女性が仕事を続けられる環境
男女格差のない社会
学生などの若い人たちと子供や子育て世代との交流の場づくり

問15 出産しやすい環境をつくるためには、どのような支援があれば良いと思いますか？(2つまで選択)

選択肢	回答数	割合
産休・育休制度の充実	316	72.8%
妊娠・出産に関する相談・地域のサポート体制の充実	121	27.9%
妊娠・出産時の経済的負担の軽減	308	71.0%
支援は必要ない	10	2.3%
その他	21	4.8%



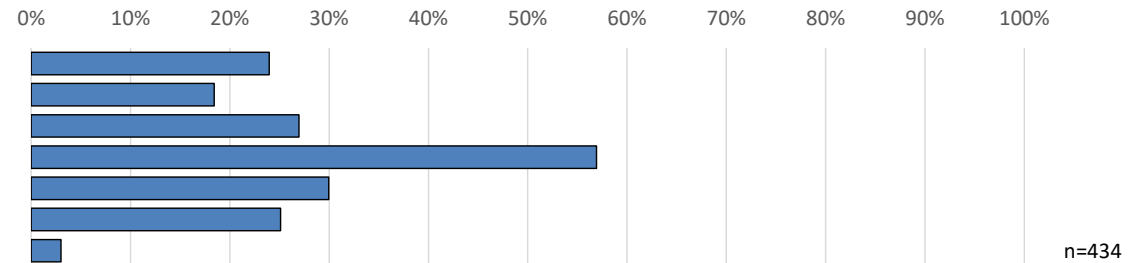
選択肢	2019年	2015年
産休・育休制度の充実	72.8%	49.5%
妊娠・出産に関する相談・地域のサポート体制の充実	27.9%	18.8%
妊娠・出産時の経済的負担の軽減	71.0%	50.8%
支援は必要ない	2.3%	1.3%
その他	4.8%	3.5%



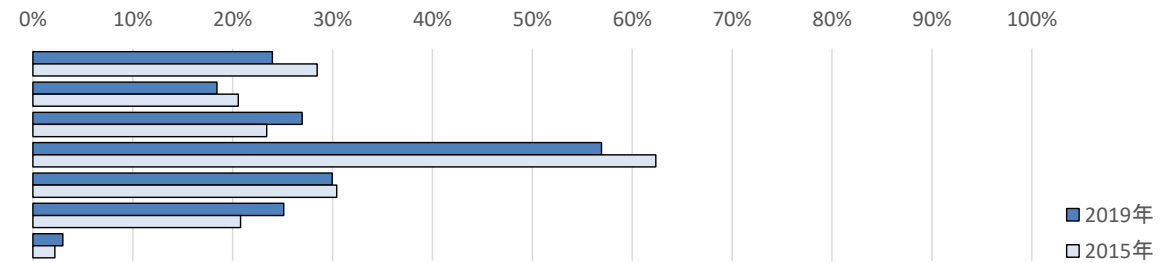
その他
妊娠・出産時の一時的な支援でなく、子育て期にかかる費用の軽減や支援
産休・育休をとれない人・とらない人へのサポート(人の産休育休でしわ寄せがあった人への配慮)
産んだ後の支援
産む病院の充実
医療の充実
保育施設の充実
各職場における妊娠・出産の協力システム
不妊治療等の経済的負担の軽減、職場の理解、サポート体制
育児～成人までを見据えた施策
お産可能な産婦人科施設
出産後の仕事の両立サポート体制
幼稚園、保育所の充実。安心して共働きできるように
産んでしばらくの間だけの支援では意味がない。育てる環境(休みがとりやすい職場や病児保育などの充実)が整っていないと産むのに不安
妊娠・出産時だけでなく継続した経済的負担の軽減
雇用先が安定していること
産後の雇用
出産後も安心して子育てができると当事者が思える支援
近居など和かいコミュニティ形成の促進

問16 子育てについて、どのようなイメージを持っていますか？（2つまで選択）

選択肢	回答数	割合
楽しい	104	24.0%
にぎやか	80	18.4%
充実感がある	117	27.0%
お金がかかる	247	56.9%
時間がとられる	130	30.0%
不安がある	109	25.1%
その他	13	3.0%



選択肢	2019年	2015年
楽しい	24.0%	28.4%
にぎやか	18.4%	20.6%
充実感がある	27.0%	23.4%
お金がかかる	56.9%	62.4%
時間がとられる	30.0%	30.4%
不安がある	25.1%	20.8%
その他	3.0%	2.2%



その他
イメージを持っていない
つかれる
おもしろいけど大変
親子で成長できる
思っていたより大変(仕事との両立)
大変
経済的な理由から夫婦と一緒に子育てできない
孤立感

問17 現在の子どもの数と、あなたにとって理想的な子どもの数は何人ですか？

＜現在の子どもの数＞

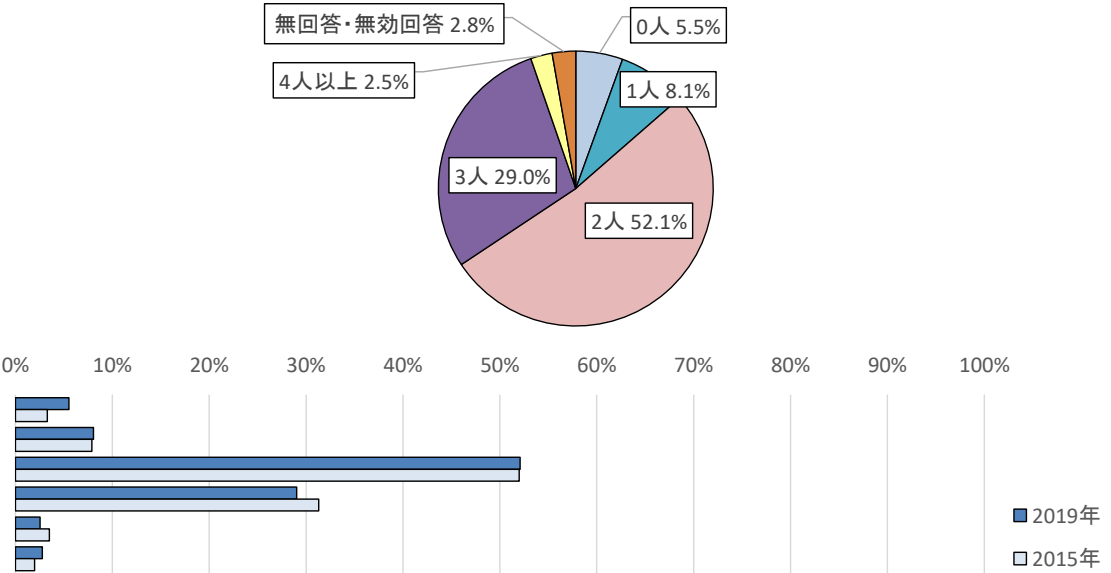
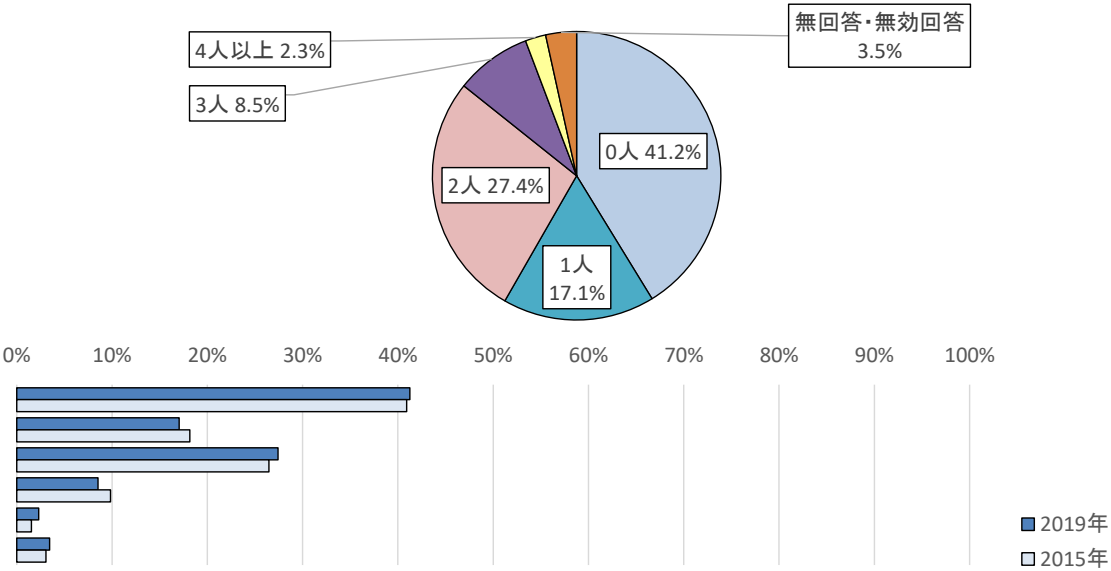
選択肢	回答数	割合
0人	179	41.2%
1人	74	17.1%
2人	119	27.4%
3人	37	8.5%
4人以上	10	2.3%
無回答・無効回答	15	3.5%
合計	434	100.0%

選択肢	2019年	2015年
0人	41.2%	40.9%
1人	17.1%	18.2%
2人	27.4%	26.5%
3人	8.5%	9.8%
4人以上	2.3%	1.5%
無回答・無効回答	3.5%	3.1%
合計	100.0%	100.0%

＜理想的な子どもの数＞

選択肢	回答数	割合
0人	24	5.5%
1人	35	8.1%
2人	226	52.1%
3人	126	29.0%
4人以上	11	2.5%
無回答・無効回答	12	2.8%
合計	434	100.0%

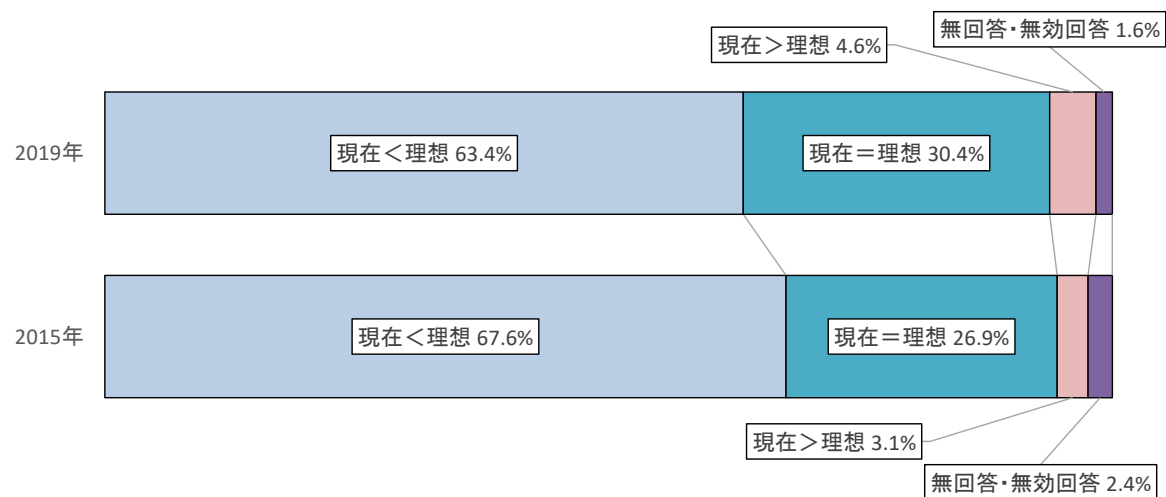
選択肢	2019年	2015年
0人	5.5%	3.3%
1人	8.1%	7.9%
2人	52.1%	52.0%
3人	29.0%	31.3%
4人以上	2.5%	3.5%
無回答・無効回答	2.8%	2.0%
合計	100.0%	100.0%



<現在の子ども数と理想的な子ども数の関係>

選択肢	回答数	割合
現在<理想	275	63.4%
現在=理想	132	30.4%
現在>理想	20	4.6%
無回答・無効回答	7	1.6%
合計	434	100.0%

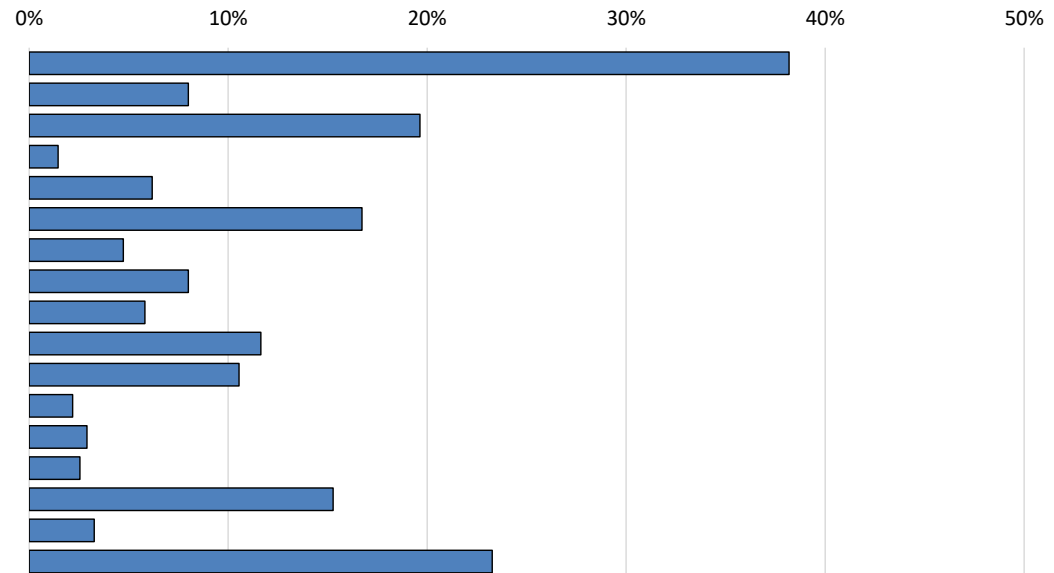
選択肢	2019年	2015年
現在<理想	63.4%	67.6%
現在=理想	30.4%	26.9%
現在>理想	4.6%	3.1%
無回答・無効回答	1.6%	2.4%
合計	100.0%	100.0%



問18 「現在の子どもの数」が「理想的な子どもの数」より少ない理由は何ですか？（3つまで選択）

《問17で「現在の子どもの数」が「理想的な子どもの数」より少ない方対象》

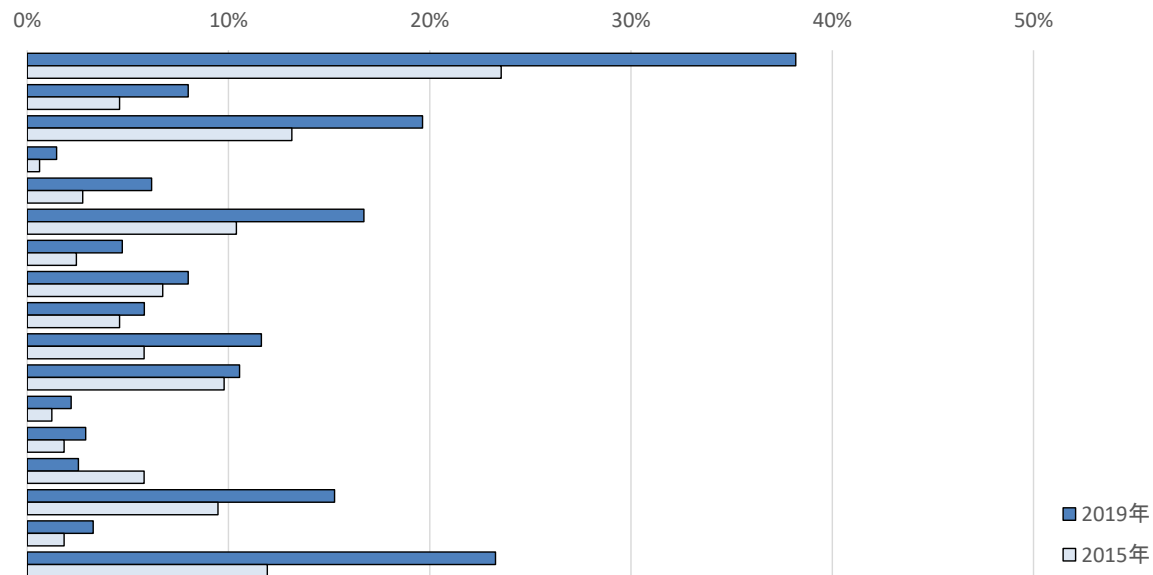
選択肢	回答数	割合
子育てにはお金がかかる	105	38.2%
仕事や趣味を優先したい	22	8.0%
仕事と子育ての両立が難しい	54	19.6%
職場の理解がない	4	1.5%
自分や夫婦の生活を大切にしたい	17	6.2%
高齢出産になる	46	16.7%
住居が狭い	13	4.7%
子育てを手助けする人がいない	22	8.0%
健康上の理由	16	5.8%
育児の心理的・肉体的負担が大きい	32	11.6%
ほしいけれどもできない	29	10.5%
配偶者の協力が得られない	6	2.2%
子どもの医療費の経済的負担が大きい	8	2.9%
保育園や幼稚園にお金がかかる	7	2.5%
高等学校や大学教育にお金がかかる	42	15.3%
いじめなど子どもの成長に不安がある	9	3.3%
その他	64	23.3%



n=275

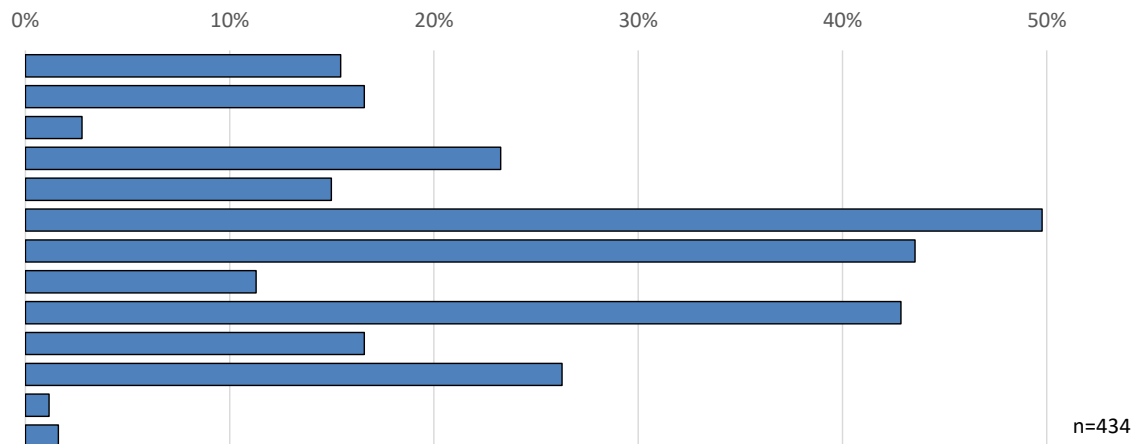
その他
独身のため
結婚したばかり
出産したばかり
税金を支払うのに大変で貯蓄まで回らない
健康な子どもが産まれてくるか不安
現在の子どもと年が空きすぎる。持病持ちの子がいる

選択肢	2019年	2015年
子育てにはお金がかかる	38.2%	23.5%
仕事や趣味を優先したい	8.0%	4.6%
仕事と子育ての両立が難しい	19.6%	13.1%
職場の理解がない	1.5%	0.6%
自分や夫婦の生活を大切にしたい	6.2%	2.8%
高齢出産になる	16.7%	10.4%
住居が狭い	4.7%	2.4%
子育てを手助けする人がいない	8.0%	6.7%
健康上の理由	5.8%	4.6%
育児の心理的・肉体的負担が大きい	11.6%	5.8%
ほしいけれどもできない	10.5%	9.8%
配偶者の協力が得られない	2.2%	1.2%
子どもの医療費の経済的負担が大きい	2.9%	1.8%
保育園や幼稚園にお金がかかる	2.5%	5.8%
高等学校や大学教育にお金がかかる	15.3%	9.5%
いじめなど子どもの成長に不安がある	3.3%	1.8%
その他	23.3%	11.9%

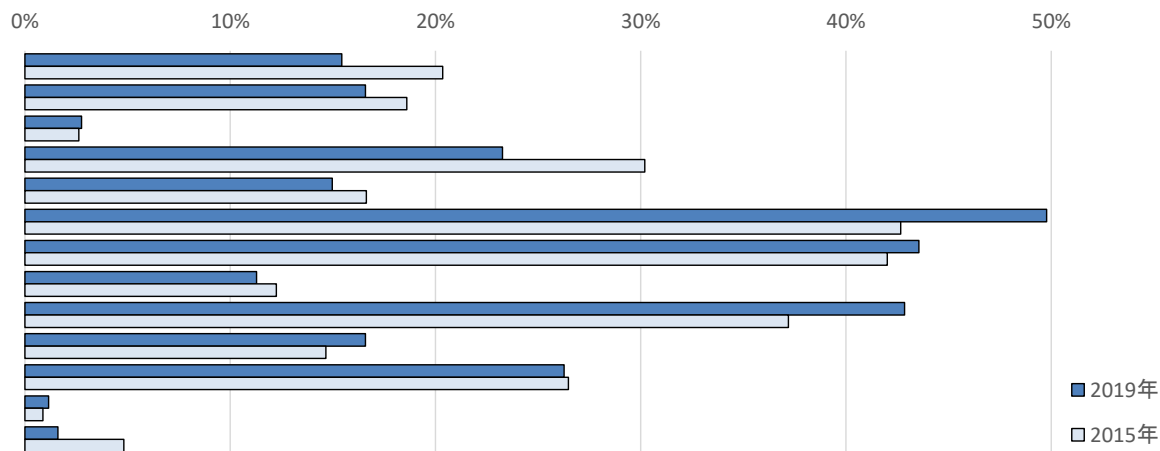


問19 子育てしやすい環境をつくるためには、どのような支援があればよいと思いますか？（3つまで選択）

選択肢	回答数	割合
地域ぐるみで子育てができる環境づくり	67	15.4%
子育てに関する相談、サポート体制の充実	72	16.6%
育児に関するセミナーなどの開催	12	2.8%
育児休暇制度の充実（期間の延長など）	101	23.3%
男性の育児休暇取得の推奨	65	15.0%
子どもの人数に応じた経済的な支援	216	49.8%
保育所などの預け先の施設の充実	189	43.5%
企業による育休明けの働き方に関する支援	49	11.3%
子育てがしやすい税制や社会保障の実施	186	42.9%
育児や住宅に対する資金貸与や補助支援	72	16.6%
長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、育児時間の確保	114	26.3%
支援は必要ない	5	1.2%
その他	7	1.6%



選択肢	2019年	2015年
地域ぐるみで子育てができる環境づくり	15.4%	20.4%
子育てに関する相談、サポート体制の充実	16.6%	18.6%
育児に関するセミナーなどの開催	2.8%	2.6%
育児休暇制度の充実（期間の延長など）	23.3%	30.2%
男性の育児休暇取得の推奨	15.0%	16.6%
子どもの人数に応じた経済的な支援	49.8%	42.7%
保育所などの預け先の施設の充実	43.5%	42.0%
企業による育休明けの働き方に関する支援	11.3%	12.3%
子育てがしやすい税制や社会保障の実施	42.9%	37.2%
育児や住宅に対する資金貸与や補助支援	16.6%	14.7%
長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、育児時間の確保	26.3%	26.5%
支援は必要ない	1.2%	0.9%
その他	1.6%	4.8%



その他
若くして祖父母になる方が多いので祖父母の育児休暇とか…
保育士の給与・仕事の仕方改善（残業や人員増やす等）
医療費のサポートを中高生までしてほしい
コミュニティ形成の促進

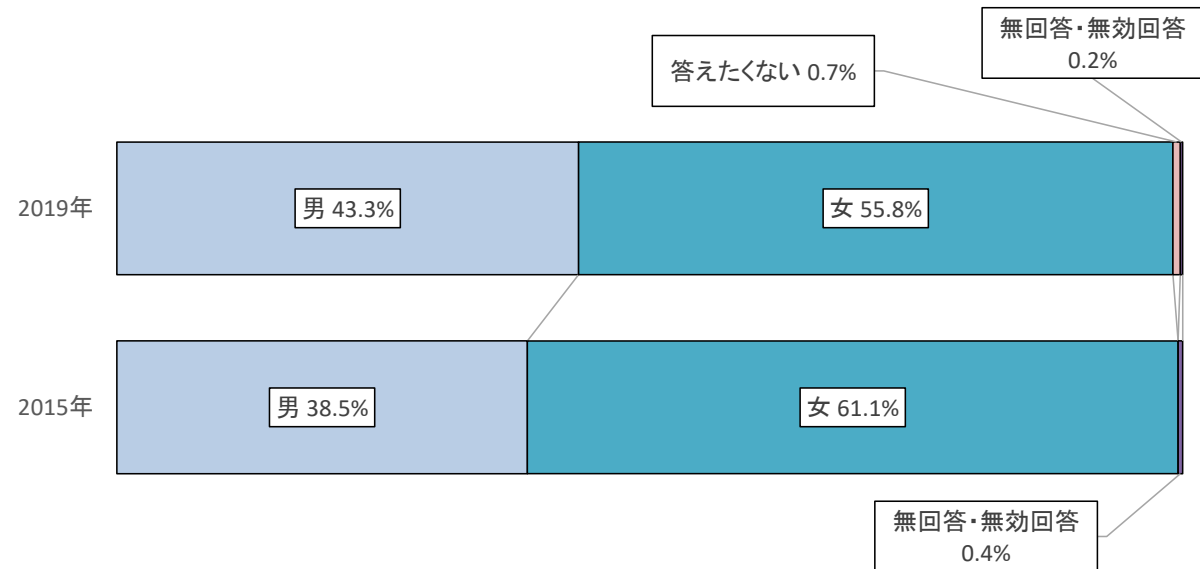
◆「あなた自身のこと」について

問1 「あなた自身のこと」について

(1)性別

選択肢	回答数	割合
男	188	43.3%
女	242	55.8%
答えたくない	3	0.7%
無回答・無効回答	1	0.2%
合計	434	100.0%

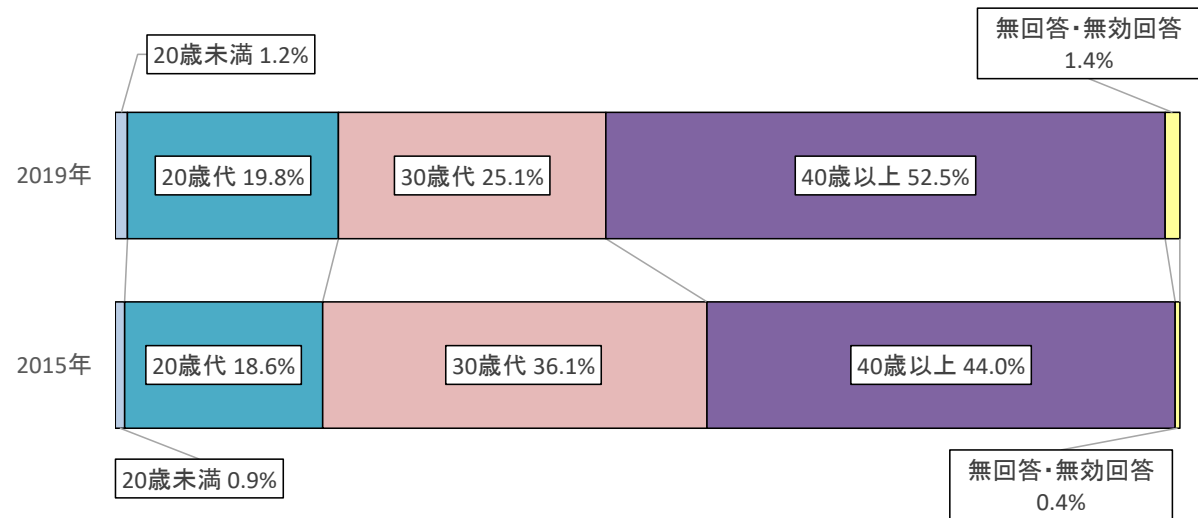
選択肢	2019年	2015年
男	43.3%	38.5%
女	55.8%	61.1%
答えたくない	0.7%	0.0%
無回答・無効回答	0.2%	0.4%
合計	100.0%	100.0%



(2) 年齢

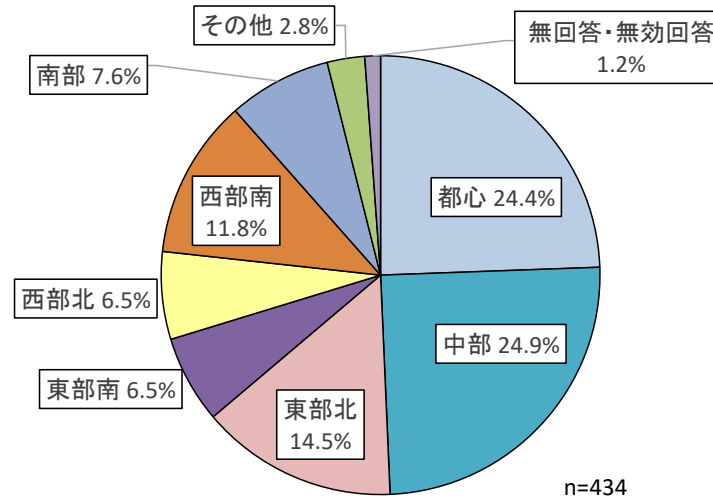
選択肢	回答数	割合
20歳未満	5	1.2%
20歳代	86	19.8%
30歳代	109	25.1%
40歳以上	228	52.5%
無回答・無効回答	6	1.4%
合計	434	100.0%

選択肢	2019年	2015年
20歳未満	1.2%	0.9%
20歳代	19.8%	18.6%
30歳代	25.1%	36.1%
40歳以上	52.5%	44.0%
無回答・無効回答	1.4%	0.4%
合計	100.0%	100.0%



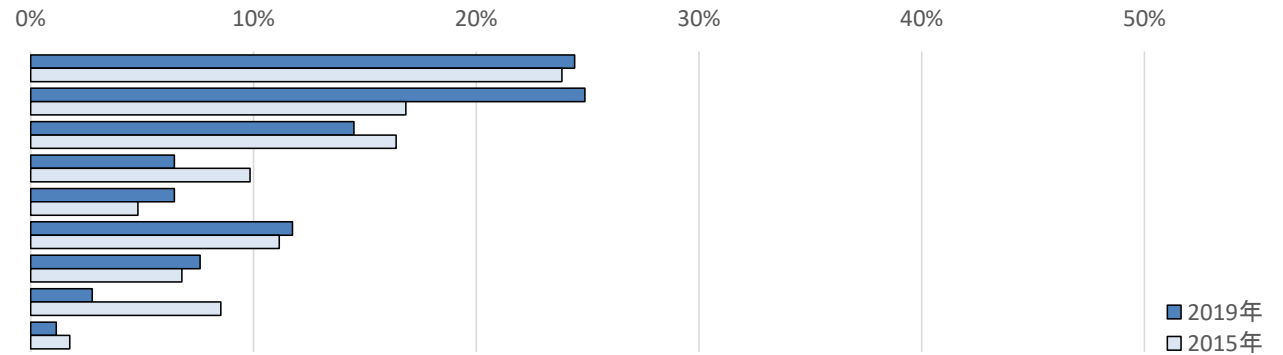
(3)居住地

居住地の内訳	回答数	割合
都心	106	24.4%
中部	108	24.9%
東部北	63	14.5%
東部南	28	6.5%
西部北	28	6.5%
西部南	51	11.8%
南部	33	7.6%
その他	12	2.8%
無回答・無効回答	5	1.2%
合計	434	100.0%



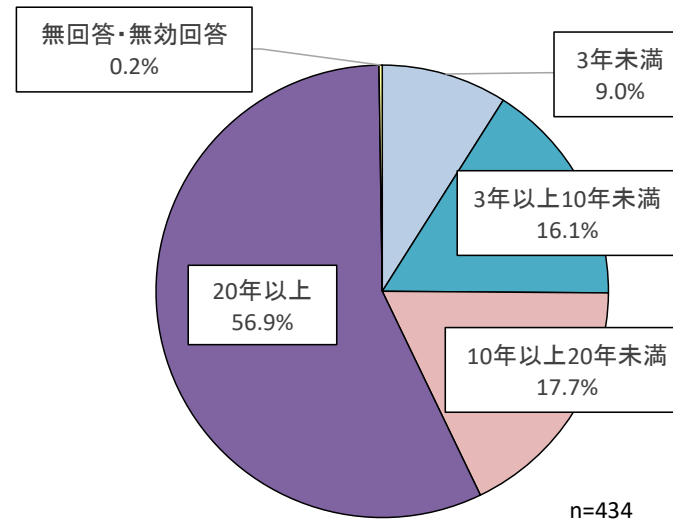
居住地の内訳	2019年	2015年
都心	24.4%	23.9%
中部	24.9%	16.8%
東部北	14.5%	16.4%
東部南	6.5%	9.8%
西部北	6.5%	4.8%
西部南	11.8%	11.2%
南部	7.6%	6.8%
その他	2.8%	8.5%
無回答・無効回答	1.2%	1.8%
合計	100.0%	100.0%

※太田地区は「中部」で集計しています。

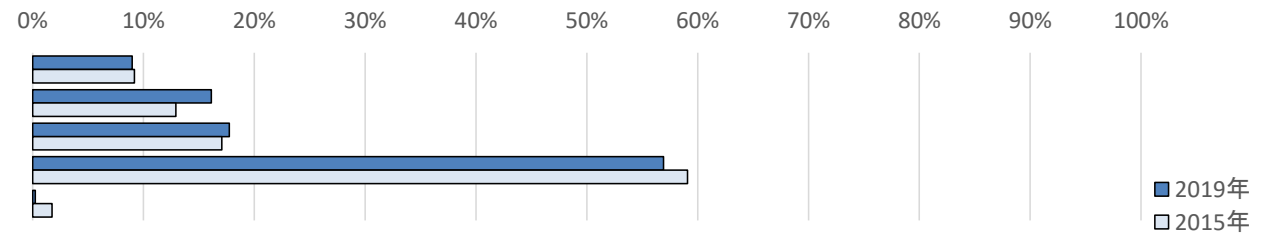


(4) 高松市(合併前の地域を含む)での居住年数

選択肢	回答数	割合
3年未満	39	9.0%
3年以上10年未満	70	16.1%
10年以上20年未満	77	17.7%
20年以上	247	56.9%
無回答・無効回答	1	0.2%
合計	434	100.0%



選択肢	2019年	2015年
3年未満	9.0%	9.2%
3年以上10年未満	16.1%	12.9%
10年以上20年未満	17.7%	17.1%
20年以上	56.9%	59.1%
無回答・無効回答	0.2%	1.8%
合計	100.0%	100.0%

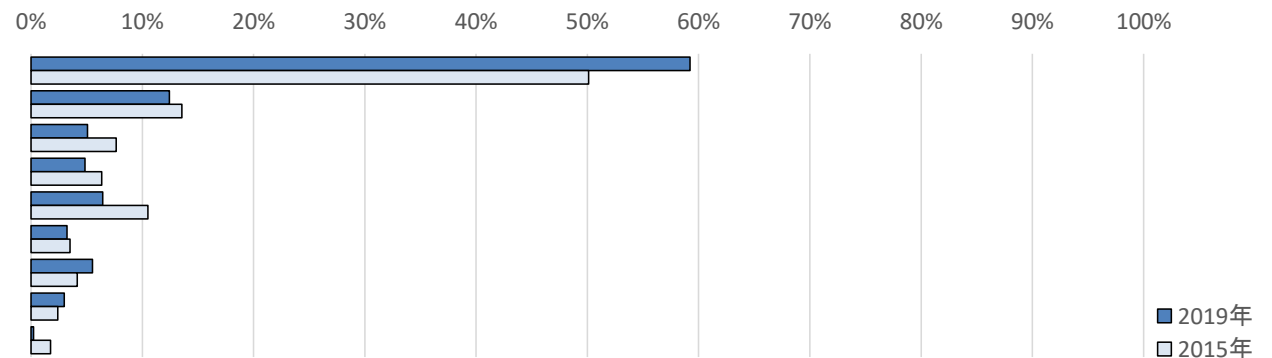
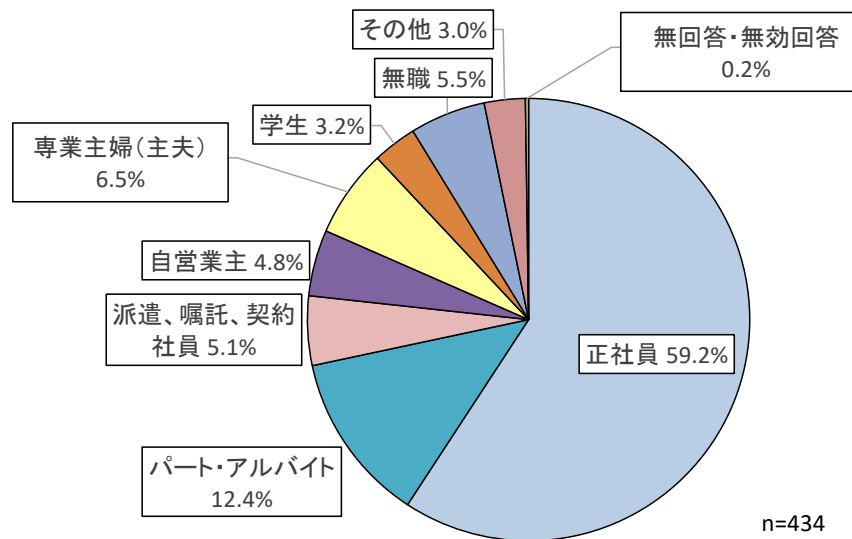


(5)職業

選択肢	回答数	割合
正社員	257	59.2%
パート・アルバイト	54	12.4%
派遣、嘱託、契約社員	22	5.1%
自営業主	21	4.8%
専業主婦(主夫)	28	6.5%
学生	14	3.2%
無職	24	5.5%
その他	13	3.0%
無回答・無効回答	1	0.2%
合計	434	100.0%

その他
代表役員
団体職員
会社役員
理学療法士
非常勤保育士

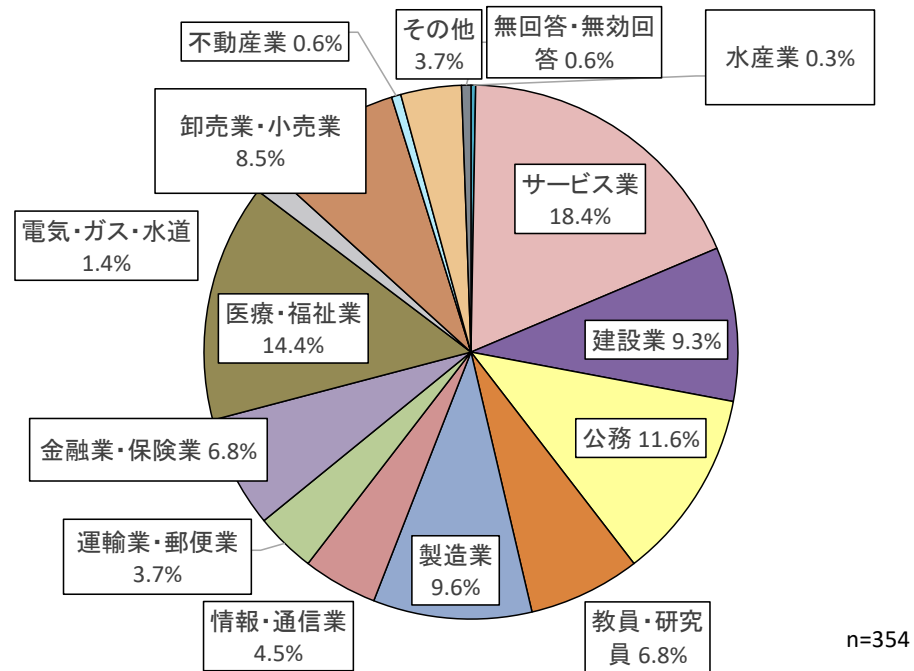
選択肢	2019年	2015年
正社員	59.2%	50.1%
パート・アルバイト	12.4%	13.6%
派遣、嘱託、契約社員	5.1%	7.7%
自営業主	4.8%	6.3%
専業主婦(主夫)	6.5%	10.5%
学生	3.2%	3.5%
無職	5.5%	4.2%
その他	3.0%	2.4%
無回答・無効回答	0.2%	1.8%
合計	100.0%	100.0%



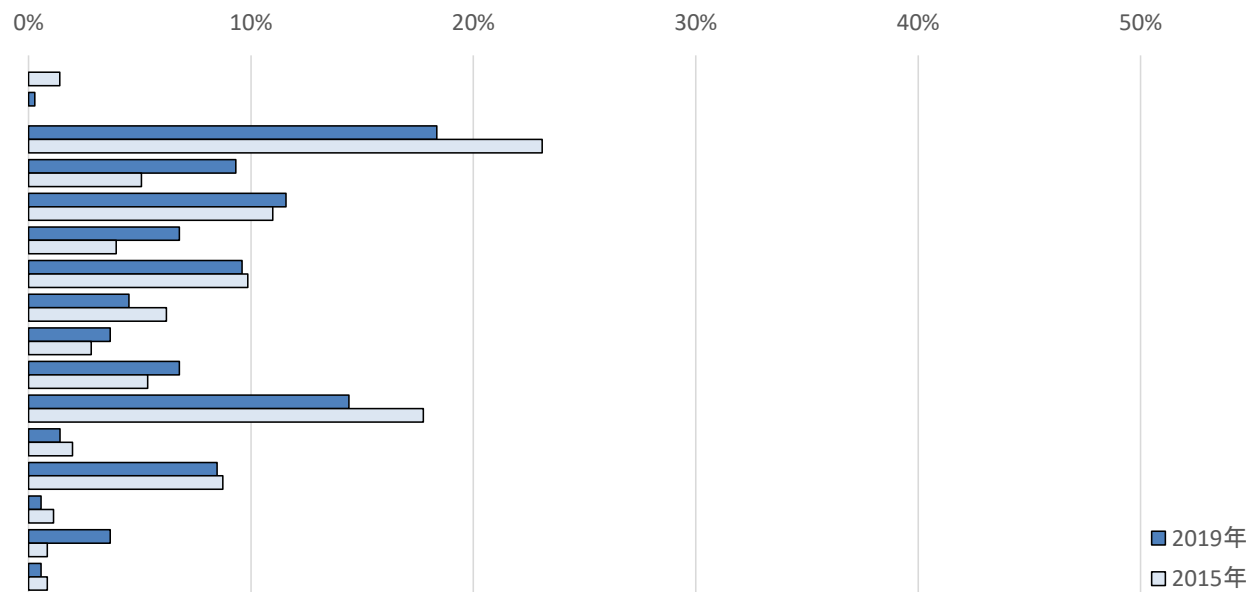
(6)業種(上記(5)で「正社員」、「パート・アルバイト」、「派遣、嘱託、契約社員」、「自営業主」と回答した方)※複数に該当する場合は主たるもの

選択肢	回答数	割合
農林業	0	0.0%
水産業	1	0.3%
サービス業	65	18.4%
建設業	33	9.3%
公務	41	11.6%
教員・研究員	24	6.8%
製造業	34	9.6%
情報・通信業	16	4.5%
運輸業・郵便業	13	3.7%
金融業・保険業	24	6.8%
医療・福祉業	51	14.4%
電気・ガス・水道	5	1.4%
卸売業・小売業	30	8.5%
不動産業	2	0.6%
その他	13	3.7%
無回答・無効回答	2	0.6%
合計	354	100.0%

その他
広告代理店
ピアノ講師
測量士
設計
機械整備
教育関係事務



選択肢	2019年	2015年
農林業	0.0%	1.4%
水産業	0.3%	0.0%
サービス業	18.4%	23.1%
建設業	9.3%	5.1%
公務	11.6%	11.0%
教員・研究員	6.8%	3.9%
製造業	9.6%	9.9%
情報・通信業	4.5%	6.2%
運輸業・郵便業	3.7%	2.8%
金融業・保険業	6.8%	5.4%
医療・福祉業	14.4%	17.7%
電気・ガス・水道	1.4%	2.0%
卸売業・小売業	8.5%	8.7%
不動産業	0.6%	1.1%
その他	3.7%	0.8%
無回答・無効回答	0.6%	0.8%
合計	100.0%	100.0%

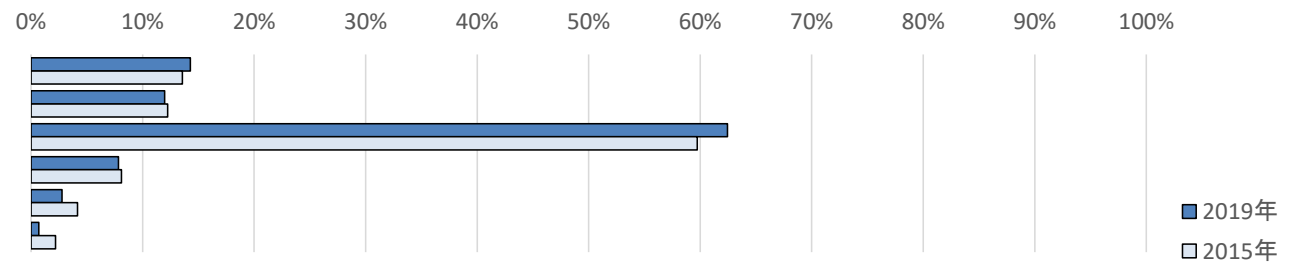
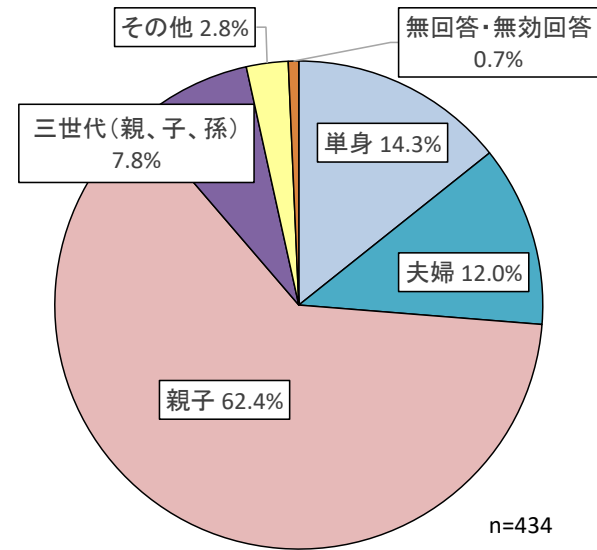


(7)現在の家族構成

選択肢	回答数	割合
単身	62	14.3%
夫婦	52	12.0%
親子	271	62.4%
三世代(親、子、孫)	34	7.8%
その他	12	2.8%
無回答・無効回答	3	0.7%
合計	434	100.0%

その他
祖母、おば家族 施設入所 両親、弟、子 夫婦・夫の母 パートナー 4世代

選択肢	2019年	2015年
単身	14.3%	13.6%
夫婦	12.0%	12.3%
親子	62.4%	59.7%
三世代(親、子、孫)	7.8%	8.1%
その他	2.8%	4.2%
無回答・無効回答	0.7%	2.2%
合計	100.0%	100.0%



居住地に関する満足度と重要度の比較

(問1及び問8から居住地に関する満足度と重要度を加重平均により比較)

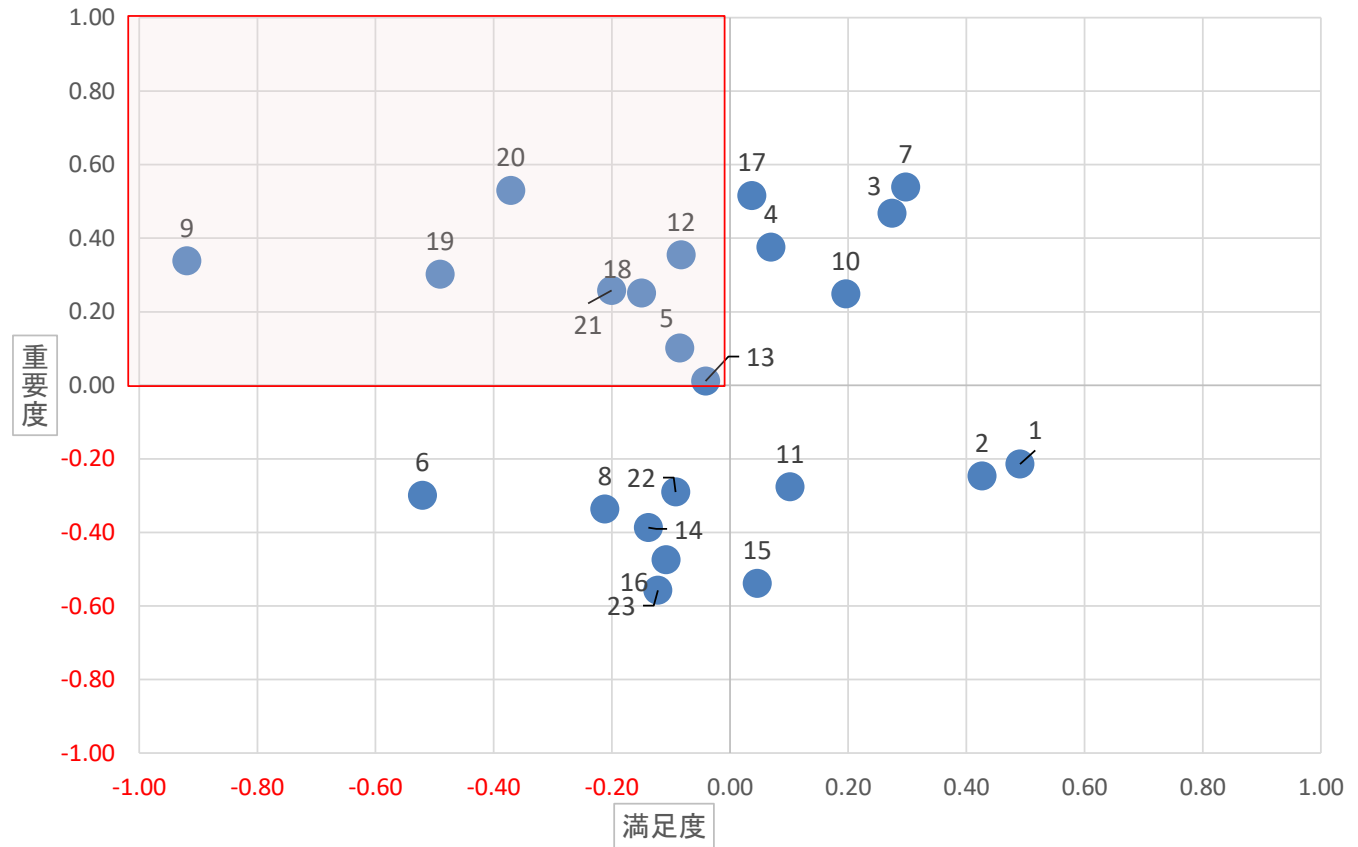
項目ごとの満足度スコアと重要度スコア

満足度	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない	無回答・無効回答
重要度	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない		無回答・無効回答
	2	1	0	-1	-2	0	0

項目		満足度平均スコア	重要度平均スコア
1	自然環境	0.49	-0.21
2	緑の環境	0.43	-0.25
3	生活衛生環境	0.27	0.47
4	住宅事情	0.07	0.38
5	就業の場	-0.09	0.10
6	余暇活動・レジャー	-0.52	-0.30
7	買物の利便性	0.30	0.54
8	まちのにぎわい	-0.21	-0.34
9	公共交通機関の利便性	-0.92	0.34
10	道路の整備状況	0.20	0.25
11	建物や街並みの景観	0.10	-0.28
12	子育て環境	-0.08	0.35
13	教育水準	-0.04	0.01
14	生涯学習の機会	-0.14	-0.39
15	芸術文化活動	0.05	-0.54
16	スポーツ活動	-0.11	-0.47
17	医療・保健	0.04	0.52
18	福祉	-0.15	0.25
19	交通安全対策	-0.49	0.30
20	災害への備え	-0.37	0.53
21	公共サービス	-0.20	0.26
22	近所づきあい	-0.09	-0.29
23	地域の人々の交流	-0.12	-0.56

項目ごとの満足度スコアと重要度スコアの分布図

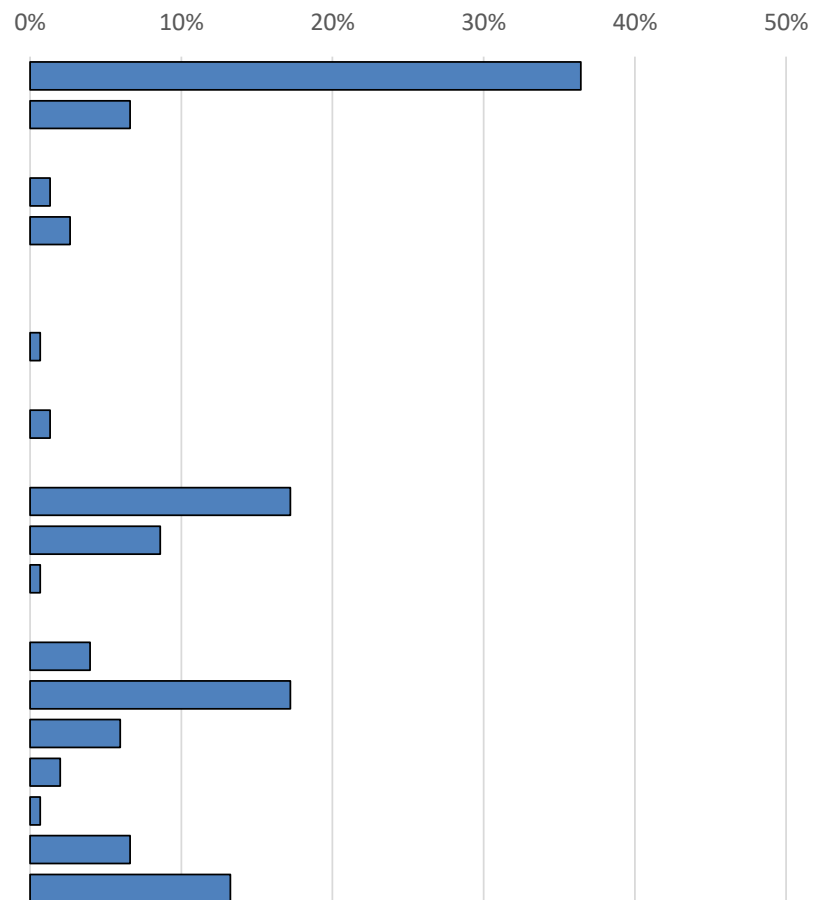
1	自然環境
2	緑の環境
3	生活衛生環境
4	住宅事情
5	就業の場
6	余暇活動・レジャー
7	買物の利便性
8	まちのにぎわい
9	公共交通機関の利便性
10	道路の整備状況
11	建物や街並みの景観
12	子育て環境
13	教育水準
14	生涯学習の機会
15	芸術文化活動
16	スポーツ活動
17	医療・保健
18	福祉
19	交通安全対策
20	災害への備え
21	公共サービス
22	近所づきあい
23	地域の人々の交流



自由意見

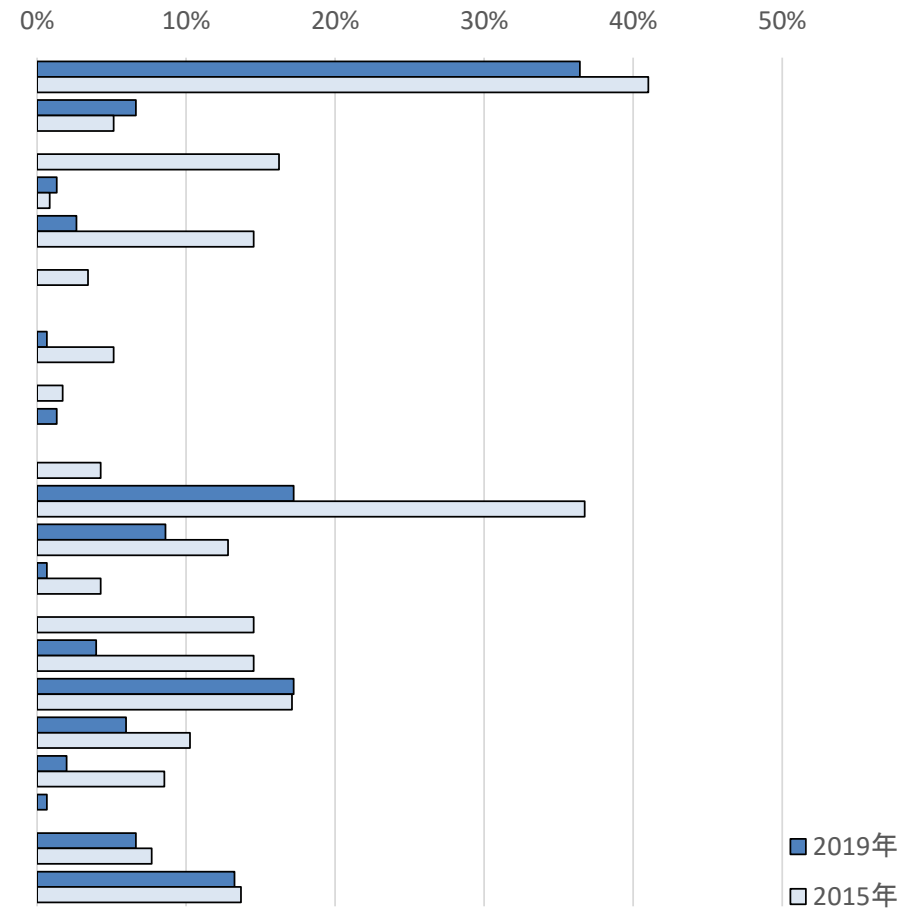
主な意見として、子育て支援に関する制度の拡充や雇用の確保・創出、公共交通の利便性向上、交通マナーの向上に関する意見が多くみられました。

政策一覧	回答数	割合
健やかにいきいきと暮らせるまち	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実	55 36.4%
	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成	10 6.6%
	健康で元気に暮らせる環境づくり	0 0.0%
心豊かで未来を築く人を育むまち	男女共同参画社会の形成	2 1.3%
	社会を生き抜く力を育む教育の充実	4 2.6%
	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成	0 0.0%
	基本的人権を尊重する社会の確立	0 0.0%
活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	文化芸術の振興と発信	1 0.7%
	活力を生み出すスポーツの振興	0 0.0%
	訪れたい観光・MICEの振興	2 1.3%
	国際交流・国内交流の充実と定住の促進	0 0.0%
	地域を支える産業の振興と経済の活性化	26 17.2%
安全で安心して暮らし続けられるまち	安全で安心して暮らせる社会環境の形成	13 8.6%
	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	1 0.7%
	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	0 0.0%
環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	コンパクトで魅力ある都市空間の形成	6 4.0%
	快適で人にやさしい都市交通の形成	26 17.2%
	拠点性を発揮できる都市機能の充実	9 6.0%
市民と行政がともに力を発揮できるまち	参画・協働によるコミュニティの再生	3 2.0%
	相互の特長を生かした多様な連携の推進	1 0.7%
	健全で信頼される行財政運営の確立	10 6.6%
その他		20 13.2%



n=434

政策一覧		2019年	2015年
健やかにいきいきと暮らせるまち	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実	36.4%	41.0%
	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成	6.6%	5.1%
	健康で元気に暮らせる環境づくり	0.0%	16.2%
心豊かで未来を築く人を育むまち	男女共同参画社会の形成	1.3%	0.9%
	社会を生き抜く力を育む教育の充実	2.6%	14.5%
	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成	0.0%	3.4%
	基本的人権を尊重する社会の確立	0.0%	0.0%
活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	文化芸術の振興と発信	0.7%	5.1%
	活力を生み出すスポーツの振興	0.0%	1.7%
	訪れたい観光・MICEの振興	1.3%	0.0%
	国際交流・国内交流の充実と定住の促進	0.0%	4.3%
	地域を支える産業の振興と経済の活性化	17.2%	36.8%
安全で安心して暮らし続けられるまち	安全で安心して暮らせる社会環境の形成	8.6%	12.8%
	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	0.7%	4.3%
	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	0.0%	14.5%
環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	コンパクトで魅力ある都市空間の形成	4.0%	14.5%
	快適で人にやさしい都市交通の形成	17.2%	17.1%
	拠点性を発揮できる都市機能の充実	6.0%	10.3%
市民と行政がともに力を発揮できるまち	参画・協働によるコミュニティの再生	2.0%	8.5%
	相互の特長を生かした多様な連携の推進	0.7%	0.0%
	健全で信頼される行財政運営の確立	6.6%	7.7%
その他		13.2%	13.7%



自由意見一覧

自由意見
子育て支援を充実してほしい。
高松市内にキャンプ場をつくってほしい。
自由な職業の選択ともっと自分で起業しやすい支援等のマドグチやサポートを充実してほしい。自分は音楽が好きなので無料で楽器演奏や、歌がうたえる場所を提供してほしいです。
・大型ショッピングモール、アウトレットの建設、開業 ・外国人の受入れ ・不動産（間取り、仕様）を大都市圏と同じにする。 ・大阪の移動時間を短縮させ、観光客を増やす。 ・農道を減らし、地下鉄やJRの充実等インフラを改善する。
次期総合戦略を策定することが目的とならないようにしてください。アンケートを取るのであれば、もっと効率的な手法を検討してください。アンケートは必ず、市政に反映させてください。人口減少は避けては通れません。人口減少を食い止めることも重要ですが、人口減少社会に対しどのように対応できるかに税金を使ってください。よろしくお願いします。
給与が物価の上昇に比例していないので、子育てに於いて経済的負担が重くのしかかる。現在の日本人の年収の中央値（平均値は無意味）では、子供にお金がかかることを考えると、とてももともな生活はできない状況である。例えば、年収500万以下の世帯には子供一人当たり2万/月くらいの援助をしていただけると、少しは少子化も防げるのではなかろうかと思います。
広い土地があるのであれば、高松市に企業が増えれば、都心に行かなくてもいいのにと、いつも思います。
不妊治療助成金を拡大してほしいです。子供が欲しくても、住宅ローン等の支払いで生活が苦しく、授けられないのが現状です。よろしくお願いします。
保育所の数を増やして、保育料を下げてください。
こども園の増加はとてもありがたいが、施設ばかりを大きくするだけでは、子供たちの入所につながないところがあると思う。保育教員の人材確保や労働者の賃金を上げないと、保育教員の不足がいろいろなところで影響していると思う。認可や小規模保育所もたくさんできているが、仕事に行きたいので、ただ子供をあずかってもらえればよいという問題ではないと思う。人口減少対策として、子どもの出生率を上げる＝産んでも育てやすい街づくりをもっと検討してほしい。そして、中で働いている人たちの待遇の改善をもっと行うべき。幼い命を預かっているのに、重労働で低賃金すぎると思う。
給料が少ないのに、共働きにくい、保育所に入れる基準がきびしく、受け入れ先が少ない。幼稚園となるととても親が出る（協力する）ことが多くて、働けない。公共交通機関の値段がもう少し下がったら、利用しやすい。車がないので、暑い時など子供をどこにも連れていけない。

自由意見
お金がたくさんなくても安定して生活ができ、楽しめるような職場環境や地域とのつながりがつくってほしい。自然に恵まれた環境を生かしつつ、高度な教育や技術を高められる場所づくり。2世帯以上同居家族に対する補助金の作成
結婚したいとは思っていたが、男の人に負けるまいと、仕事に夢中になり結婚できずこの年齢になってしまった。まだまだ社内では男女平等とは思えないことが多々ある気がします。もっと男女平等だと思える社会になり、出産して育休を取得したとしても、女でも管理職になれる、仕事と育児を両立しやすい社会になってほしい。
高松のいいところは、自然もあるし、また便利でもあるところだと思う。住みやすい街だといえるが、欲を言えば公共交通網がもっと充実するか、またはタクシー代を半額負担してくれるとかなれば、高齢になっても住みやすいかなと思う。私はこの先、独居高齢者になるだろうが、互助組織的なものがあれば、安心して高松に住み続けることができると思う。
子どもの数が多い人に対して優遇制度を設けてほしい。1人の人と4人以上の人では子供にかかるお金が何倍も違うので数に応じた制度を望みます。申請方式でもよいのでご検討をお願いします。
公共の乗り物（バス・電車など）をもっと充実させてほしい。
現在の働き世代は余裕がありませんように感じます。昼間は町には子供とお年寄りのみ…。いざ地震が来てもどうすることもできません。どうか子どもたちとお年寄りを普段の生活でお互いが身近に感じ、いざという時、助け合えるような“つなぐ”支援をお願いします。 例えば、まちぐるみの昼間の避難訓練や、小中学生と地域の方の交流（同じ人数）等
片側車線でも2車線でも、バス停にバスが入るためのスペースが無いので、車線を塞いで渋滞になることがある。 どのバス停でもバスが入るスペースを確保して、渋滞がないようにしてもらいたい。
治安のいい街 防犯カメラの充実
妻が子づくりのため病院へ通っているが、人工妊娠など金銭面が高く負担が大きすぎる。 長期的になりそうで不安が大きい。
商業施設がもっとできてほしい。 同じようなお店ではなく違うショップがたくさんできてほしい。
「自治会に入りましょう」というプリントなど配付されるが、実際は引っ越してきて自治会に入りたいといっても「入りたいなら〇〇万円払ってください。前から住んでいる人はお金を出して自治会館を建てているから」と到底私たち世代では払えない金額を言われる。いまでは自治会に入らないで良かったと思うが、最初にそういうことを言われたときはびっくりした。
車を持ってない人（自分自身も同様に）や経済的に車の所有が難しい人もいるので、自由に車を共有できるカーシェアサービスを始めてほしいです。

自由意見
若者が働き続けたいと思える企業を増やしていくこと。 そしてそういう企業を知ってもらうことが大切だと思います。
子どもたちが無料で遊べる場所が少なすぎる。 駐車場、手洗い場、影で休める場所等、家以外に子供と一緒に出掛けて気分転換できるような場所があればいいと思う。
車も持っていない人でも不便のない交通機関をもっと充実させてほしい。
合併前の庵治町は中学生まで医療費無料という子育て中にはとってもありがたいサービスがあったが、合併してから小学にあがると有料になり、とても出費が痛かった。途中から小学生まで無料になり良かったが、間で消えたり対象になったりと振り回された感じがした。 交通の便が都会に比べかなり不便なので高齢になり免許返納を考えると不安になる。
職場に結婚を機会に、ご主人の地元・高松で住み始めたという新婚の女性職員が多くいますが、交通の便が悪いという声をききます。 私自身、今年度から車→電車通勤に変えるまで、ほぼ車生活でした。交通機関の充実でお年寄りの自動車運転も減らせるのでは？ ことでんへの協力、新構想の実現を希望します。
人口は増やすことなく、観光に来る人を増やす努力をすればよいと思う。 子供がいても働きやすい環境をつくる。 仕事場に保育する場所があるなど増やす！
老後の保障を充実してください。
給料が安すぎて田舎で住むメリットがない。そもそも働き方改革やプレミアムフライデーなどの取組み等が都会よりも弱すぎる。 高齢者の無謀な運転で若者の命を奪い尚人口減少に拍車をかけているのもっと何らかの対策をしてほしい。 アンケート項目が多いのにわざわざ答えた側へのリターンが何もない。 回収率が悪いのでは？
自立して子供が働くようになって、奨学金の返済など自分のことでのお金がすごくかかり、結婚しても子供をつくる余裕がないという現実があると思う。 子供が結婚願望がないという事もある。彼氏彼女という風に付き合うのは良いが、結婚は必要ないといった考え方になってきているように思う。
子育てうんぬんよりも先に結婚しないと子供はつくれるので、昔のようなご近所にどこでもいる、おせっかいなおばさんがいてくれたら良いが、共働きが多いので、他人にかまってもらえない社会になっている。そこをどうにかしてほしい。

自由意見
スキルがあるのに正規になれない人。スキルが向上しないのに正規である人、行政も企業も採用の線引きがおかしいと思う。 試験でその人の可否を決めるのではなく、現場の意見を取り入れた採用基準になると、とても魅力的。 他県、他企業ではパートから正規になるところもある。 この町でずっといたい、住みたい場所にするには、常識に捉われた運営をしないでほしい。 親となる人の生活・経済が安定しないと人口減少は止まらなくとも考える。
行政の無駄をなくす（選択と集中） コンパクトエコシティの推進 災害が少ない利点を生かして企業の誘致
保育所などの預け先を充実してほしいです。
休日等はなるべくなら公共交通機関を使おうと思いつつも便が少なかったり不便なことから結局、車を使ってしまう。 高齢者ドライバーによる事故等も気になりますので、公共交通がもっと便利になることを希望します。 自宅アパート周辺は側溝も多く、浸水時などの不安があります。
お金の支援充実 子どもの数が多い家庭への経済支援 公園をもっと作ってほしい。
この結果は有効活用されているのでしょうか。 支援を受けていない人、受けられない人への配慮等はないのでしょうか？
【基本目標４】の高齢者の件にも通じますが…低所得・独身の者でも健やかで心豊かに暮らせるような税金の使い方をお願いします。低所得・独身で親子が暮らしている人が市内にどのくらいいるのか等も調査してはどうでしょうか。
年配の人が多く、若い人が置き去りにされている気がする。住民税や保険料が高いので経済的余裕がないので結婚できないなどの負のループに陥っている。対策はとても難しいと思う。
高松市は子育てに対して手厚く対応してくれている市だと思っています。環境においても緑が多く子育てしやすい町も大切ですが、企業が入ってきてくれる町づくりも大切かと思つきます。 高松で働くためには「魅力ある仕事が高松にもある！」とPRしないと都会の大学に行った人はUターンで帰ってこないのでは？ラジオ・テレビでのPR（朝のラジオなど皆聞いているのでは？）ハローワークの利用などなど
電車やバスがより充実すれば良いと思う。

自由意見
子どもがボール遊びできる場所が少ない。 私たちが子供のころはどこでもボール遊びができたのに、今の子供たちにとっては残念なまちになってしまったものです。
結婚相談窓口や婚活イベントなど出会いの場の提供が増えれば人口減少対策に少しはつながると思います。
子育てが安心してできることが一番
婚活セミナー等を開くのではなく、市営住宅の戸数を増やしたり、結婚奨励金をもうけたりする方が良いのではないと思う。今結婚がしたいけどできないのではなく、しない選択をしている人も多いと思う。女性の社会進出も進む中で、やはり結婚・出産のデメリットは大きい。企業も若い女性は結婚したり、出産したりと働けなくなると採用の時思っていると思う。「男性も必ず育休をとる」っていうのは変だと思う。そこは自由意志だし、家にいる方が邪魔な時もある。育休中の生活費はどうするのかなど。育休中の経済的支援がもう少しあれば。高齢者も大切だが、これから未来がある人のために税金を使ってほしい。
街コンは金額が高く参加のハードルが高い。全体的に出会いが少なくなっていると思うので、出会える場を整えてほしい。
いつもありがとうございます。これからも子育てのしやすい町づくりをしていただけたらと思っています。大変だと思いますが頑張ってください。
地元に着した企業（大手）があれば安心して子育てできると思う。子育てをする期間は時短や休暇の取得ができればと思う。制度はあるがなかなか実際は取れないのが現実です。
・電車など公共交通機関の充実 ・公園やレジャー施設の充実 ・中心的な市街地の発展を特に期待しています。 ・高松市は住みやすい街だと思うので県外からの移住者観光客が増えるような計画が策定されると嬉しいです。
災害に対して安心のできるまちづくりをより一層強化してほしいです。自然環境の素晴らしい、人と人が安心して生活できるまちづくりを進めてほしいです。
町や地域の人が協力をして子育て中のお母さんを見守る。 森林を伐採して新たな土地は作らない。 森林は動物たちの場所。動物の邪魔をしない。 一番は賃金を上げる。そしたらみんな県民も子供を作りやすくなると思う。 賃金が低いから経済的な面で子供も若者も減っていくでしょう。
商店街をぶらぶらしたり買い物したいが郊外から中心地へ出かけると駐車場が不便であったり、ことでんを使うと買った品物を持ち帰るのが重たくて大変だったりする。だんだん面倒に感じて足が向かなくなる。今は車を運転できるので郊外大型商業施設はありがたいが、反面、免許返納を考える年齢になったとき、生活をどうすれば良いか今から不安である。

自由意見
四国新幹線の早期導入 高松駅と高松築港駅、栗林駅と栗林公園駅の接続、ダイヤ改正 レインボー、サンフラワー、サンメッセ、高松空港への駅と鉄道の設置、無電柱化、自動車道の整備、中心市街地と幹線道路部の高架化、高松中央ICと檀紙ICの間へのICの設置、県道147号線と国道32号線の早期接続。 周囲でよく聞く意見の一部です。お金のかかることばかりですが、よろしくお願いします。
・保育施設の充実→待機児童0を早くしてほしい。 ・産休・育休中の給料がなくなり、保険からの手当でとなりますが、双子の出産でもその手当は一緒に経済的に不安です（67%～50%）。もっと高水準であるとか、そもそもの給料水準が上げれば良い。
病児保育の充実
・レインボー周辺へのインフラを整備してほしい。 ・高松空港まで電車をつなげてほしい ・新幹線を本州からつなげてほしい。
魅力のある観光地にして、県外からの移住者を増やす。（うどんはすでに認知されているので、ほかの物。）
峰山をもっと利用しやすくしてほしいです。 せっかく自然がたくさんあって街からも近いのに車がないと訪れることができないのが残念です。 土日だけでも小さなバスの運行などがあればなあと思います。
できるだけ労働環境や教育環境が手厚く整えられるとどんどん増えると思います。
消費税が上がるので子育てに対するこの先の不安があります。育児に対する補助支援があれば助かります。
・歩道が狭すぎる（ベビーカーなど押していると斜めの道があったり大変。） ・用水路が危ない。・交通マナーが悪すぎる。 ・野焼きを廃止してほしい（子供には悪影響でしかない）。 ・肺炎など煙はあまり良いとは思えません。環境にも悪い。 ・空気があまり良いとは思えません。
「就業支援」や「子育て支援（福祉を含む）」が充実した「まちづくり」が特に重要であると思われますが、生活衛生環境が良いことも重要であり、防災や安全・安心（再犯防止）な「まちづくり」が必要であると思います。

自由意見
子育てにおいては、支援センターなど、子供やママ向けの支援がたくさんあっていいが、お金などの経済面において悩んでいるママさんが多い気がする。高齢出産においての肉体的な問題を含めて、資金援助を要望する。（子供が大学進学すると仮定すると経済的不安が残っている。）
・治安をもっと良くしてほしい。 ・運転マナーの改善に尽くしてほしい
不必要な出費をカットし、必要なPOINTへ予算を分配すること。
若者（10代～40代）世代にもっと目を向けないと自然減少していく中でもっと減少が加速していくと感じます。 高松（香川）から出なくても都会にあるものはある程度揃っているという感覚を感じられれば田舎離れが起きにくいと感じています。
自分の住んでいる町は、地域の孤立化が少なからずあると思う。 自治会に入るのに何万もかかるとか入りたいが入れないなど。 また、ご近所づきあいしている所も少ないのではないかなと思う。 地域で子育てができるようにしていきたい。 現代の結婚や出産に対しての考えからも人様々で難しくなっていると思うが… スウェーデンなど海外のように子育てや老後、医療など福祉サービスの保障、婚姻にかかわらず、出産、子育てができるようにすることで、結婚したい、または子育てしたいと思える人が増えたらいいと感じる。 出産や乳幼児、学童だけでなく、その後（せめて中学、高校くらいまでは）の経済的支援もあった方が安心して子育てができると思う。
子育て支援の充実を希望します
魅力的であるかどうか別として、観光地スポットが不足して、県外から若い人を呼び込むにはアピールポイントが少ないと思う。 屋島のように展望台をつくっても、何を見るのかわからない。もっとニッチなところを狙ってもいいのではないかな？ 例えばパラグライダーができるとか、スポーツ系の設備を整える等すればその種の分野が好きな人たちが移住する等となるのでは？
人口減少対策として、人を取り込むよりも人を流さないことが大事だと思います。 働きたいと思える企業の増加が鍵となると思います。
・家を建てる際の補助金などがあると嬉しい。 ・子育てはお金がかかるので月々の児童手当の金額の見直しをしてもらいたい。

自由意見
プロスポーツチームへの支援を充実させ、地域の人々に関心を持ってもらうことで、盛り上がるのではないかな。
保育施設の増加 子どもが就職するまでの教育、医療費を無償化又は、支援が人口増加に重要
防災をもっと安心できるようにしていただきたいです。
市外へ出て、外から高松市を見るといい所がたくさんあります。 いい所をぜひ育てていきたいです。これからの子たちが高松市ってこういう所だよと市外の人に誇れるようにしていきたいです。 アルクエストなど、高松市の中で、高松市の良さをナゾを解きながら体験できるイベントが増えることを願っています。
・30歳以上の中途採用をもっと増やす（大企業）（公務員）。 ・都会の一般サラリーマンが35歳くらいでUターン就職しても、割とすんなりとなじむのではないかな。 ・子ども（小学生～中学生）が転校してもすぐなじんでいる例をもっとアピールするといいいのではないかな。公立がほとんどなので、部活含め教育費にいくらかかるかな。 ・寮のある私立高校もあると発表すれば、子どもだけ高松周辺に残すことも可能。（親の転勤） ・香川大学の留学生家族を市が全面的にサポートすることで、徐々に人口減少は防げるのではないかな。 ・外国人クラスがあることで、興味を持つ家族が校区に喜んで住むこともあるかもしれない。 ・市民病院を解体し、さらに市営住宅（これも外国人優先、留学生優先）を建設すれば長い目でみれば効果は出るはず。排他的な地域ではないので、スムーズに事ははかどると思われ
少子化をとめることはかなり難しい。（不可能） 少子化を前提とした仕組みづくりに本格的に取り組んでほしいです。
私の世代はSNS等でも情報集できますが、できない世代の人たちへ、ローカルメディアをもっと利用して情報を発信し、限られた人たちの賑わいでなく、広い世代で賑わい作りが必要だと感じています。 街が行っているイベントへの参加者が限られた人たちに偏っている。
関東から香川に帰ってきて、就職先・保育施設の少なさに驚いた。（人口の差もあるので仕方ない部分もあるが…。） 資格をもっているがそれも活かせず、主婦になるしかない状況になった。 それで子供を産め増やせと言われても無理です。 無償化はありがたいが、預けたい所に預けられた方がうれしい。
街路樹がのびているのが危ないと思います。 中学生までの医療費負担は助かると思います。

自由意見
子育てしながら正社員で仕事をするのは大変です。 母親に対してのみの負担が多すぎる。 社会全体で良妻賢母と押しつける。できるわけない（体をこわす）。 リタイアされた一人暮らしの高齢者、まだまだ健康で元気であれば手伝い等のサポート活用対策をされてはどうか？ 子育てがとにかくしにくいです。
空き家が多くこれからも増えていくことだろう。 金額にすると一体どれだけ無駄になっていることか。 人口はへっているのだから、それに合わせた開発を（住宅、アパート、マンション棟）を行うよう行政で決めてほしい。 18～49歳が対象であれば、ネットで入力するなどもっと簡単に集計できる方法等を考えてアンケート等は行ってほしい。（人口削減対策として無駄を省く）
人口減少だとはよく聞きますが、家はいたるところでたっています。空き家もたくさんあります。空き家を何とかしてもらいたいです。 私の家の裏は空き家ではありませんが、屋根が半分以上なくて、今にも崩れそうですが、そのままです。 いつか人が下敷きになるかも…と言うくらいのレベルの家です。あんなのを何とかしてもらいたいです。
高松だけで考えても…と思う。全国に先がけてと思うなら、子ども手当を大幅に増やしてとか、子どもがたくさんいる方が幸せなことを実現しないと、今は体が大丈夫で一人っ子や、子どもがいな い家庭の方が裕福な世の中だから。 子どもがたくさんいて楽しいより、裕福な方も選択しているので、それを逆転してほしいと願います。
離婚してひとりでこどもを育てていくにあたり、給料の安さとか、経済的支援とか、そういうのを考えると不安しかないので、出生率が上がらなくて当然だと感じる。ひとり親でもこどもに不自由なく 育てることができるような高松になってほしい。
「高松は四国の玄関口」と言われていたけど、今は違う。 大企業の支店もたくさんあるけれど、高松（香川）に就職したい企業が必要だと思う。せっかく大学で高松に来て「就職は県外で」では意味がない。
大学生の子どもを持つ家庭です。今は県外ですが、香川県が魅力ある会社や社会になり、香川で就職してほしいと願っています。 よろしくお願いします。
・魅力ある企業・大学・商業施設の誘致をし、若者の流出を食い止める。 ・他県から憧れをもたれるようなイベント・施設・制度をつくる。
以前、不妊治療で通院していた時に、助成金の申請をしたことがあります。高額だったのでその助成金があったおかげでやってみようというきっかけになりました。 結果的には心身ともに疲れて良い方向にはいきませんでしたが、自分自身納得できたので良かったと思っています。 関係ないかもしれませんが、その後転職して毎日楽しく仕事をしていたら2人目を授かることができました。生活環境はすべてにおいて大切だと改めて思っています。 これからの高松市に期待しています。よろしくお願いします。

自由意見
県外から転勤してきたが、田舎ではあるがよい市だと思う。
昔の高松市のように、商店街をにぎやかにしていただきたいです。
・子育てのために他県等から移住したくなるような支援策や補助金を充実させ、それをアピールする ・アピールにSNSをつかった口コミ等をうまく利用する ・災害が少ないのをもっとアピールする（データセンター研究機関の集積地帯をつくる） ・大学のレベルを上げたうえで、受け入れ人数を増やし、そのまま香川で就職してもらおう。 ・JR琴電の相互乗り換えがもっと利便性を高めるために 湯元－JR屋島－レインボーサンメッセ－仏生山－空港－国分寺（JR）を結ぶ路線をつくる。既存の路線との相互利便性が高まり、利用客が増える。企業の誘致もしやすくする。 ・アンケートを〇で囲むようにすると統計としてはとれるが改善点の中身（アイデア）がみえてこない。もっとかかせるようにアイデアコンテスト等をするや、図書カードを進呈したらどうか？ またアンケートをとるなら結果を送付してほしい。フィードバックが欲しいアンケートを元にこのようなことを進めたい等これを元に何かが変わることが実感できればもっと協力的になるのではないかな？ 行政でこういうことに取り組む等、TVCMで使うことをしたらどうか？
若い人が住み続けたいと思えるような働く場所や環境を整えてください。
高松市内に分譲地がふえて住宅が増えているが、台風のために水路があふれている。（治水がいきとどいていない） 昔は田や畑で水を吸収していたが、今は住宅になったのでできていない。 現状では友人に住むのは勧められない。 多肥に住んでいるが一刻も早く水路を直して安心して住みたい。
若い人、子育て世代の人たちがレジャーが楽しめる施設が少なく整備されていない。公湊、峰山の施設の拡大、整備してほしい。
医療費の無料を中学生までにしてほしい。市、県議会議員が多すぎ。それだけ税金がかかる。 田んぼで燃やさないでほしい。
結婚、子育てには前向きに考えていきたいが、金銭面、環境面等不安が多い。制度の充実だけでなく、手助けとなる制度を、市民がより認知・理解しやすいよう発信して頂きたい。
双子や年子等のファミサポの補助が欲しい。（1h700円高く感じる）
子ども達は高校を卒業し、関東の大学に進学しました。就職を考えたときに、高松市に帰ってくる選択肢はなかったようです。若者が働ける企業がもっとあればよかったと思います。 車社会なので、玄関を出て車に乗り、通勤、買い物とても便利ですが、近所の方との接点は全くないので、楽ですが淋しいです。

自由意見
高松市人口推移は減少しているが、人気のある小学校区は人口が増えていると思います。 人気のある校区には公園がしっかりと整備されている。私の居住している鬼無小学校区では市が持っている公園はたった1つ。しかも小学校から遠く、国分寺との境目です。 原因はそれだけではないと思いますが、JRが通る、近くに商業施設もある土地代も安い。 公園整備の重要性を考えていただきたいです。
高松駅周辺から瓦町フラッグを中心に観光、レジャー、子どもと一緒に遊べる施設を充実させてほしい。香川県は車がないと不便といわれるように、電車でいけるところをもっと力を入れてほしい。自分がこどものころの商店街はほんとうににぎわっていました。よろしくお願いします。
出産・育児に対する不安は仕事関係でもとても大きいです(今のようには働けなくなるのでは、預けるところの確保など)。しかし、前向きに出産について考えていこうと思っているので、生み育てやすい町にしてください。
転勤で高松に来たが、小・中学校の制服、かばん、ジャージ等のお金が高松市以外の地域への転勤時と比べてとてもかかり、生活がきつくなった。小学生の子の転校時の先生方の配慮はよかったと思うが、中学生の子の方は全くなく、親子ともとてもきつかった。
・安心して子供が生まれる環境が必要 ・保育所等の充実 ・就職しやすい環境作り 企業数・求人数
公共交通機関の充実(高松全域での)をしてほしい。県をあげ瀬戸芸を開催しているが、地元での盛り上がりには欠けていると思う。地元の人達も運営・参加側(客)など多方面から関われる本当の意味での市民のための企画があれば活性化すると思う。どこの市町村でも同じだが、各税金の軽減をお願いしたい。健診の充実や、福祉への様々なサービスの充実も必要では？
保育士さんの賃金を引き上げをして、保育施設の充実をはかる。若者、再就職者の賃金の充実をはかる。
・企業への誘致(就職の確保 若者の県外移住阻止) ・魅力ある高松市へ(教育、福祉、衛生、医療、子育て支援等の高い水準) ・不妊治療等の経済的支援 ・交通網の充実 ・庵治石、香川漆器など地場産業のアピール ・漁業農業のアピール
・習い事が多くなっているため、補助がほしい。 ・収入が少なく共働きだと、どうしても自分達でフォローできる範囲に限られるので、習い事に行かせざるを得ない。
大阪から地元へUターンするにあたって空家バンクを検索しましたがほとんど稼働しておらず他の県への移住も考えます。もっと情報整理、開示して欲しいです。

自由意見
・車がないと生活できない環境の割に駐車場が少ない。多くのドライバーがマナーが悪く、しかも運転がヘタ。バスに乗ろうとしたら近くのバス停の土日祝の始発は9:00 ・ごみ収集やドブさらいを各自治会に押し付けるのはやめませんか？やるのは仕事と育児に忙しい30~40代で、老人は見て見ぬふりし、20代は他人事。「へらこい」を美德と思う文化を捨てない限り、高松に未来はありません。
一生涯働き続けられる安心のある企業、障害者雇用、難しい問題ですが他の地域で出来ていない事 力を入れて動く事で魅力ある街に見え、住み続けたい街になるのではないのでしょうか。私は他で住みたいとは思いません。いい街だと思います。
車がなくても生活できる社会になれば良い。
高松は子育てしやすく住みやすい土地だと思います。
とにかく子どもにお金がかかる。高校、大学、専門学校は無償化にしてほしい。都会に比べると、子育て支援が行き届いていない。県知事をはじめ都会の情報等を聞いてよいものは取り入れるべきだと感じた。
支援措置の件で市役所の方に大変親切にいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。 大きなゴミを出すときに、電話で予約したり一覧を見て料金を納めたりといった、そのあたりの仕組みがHPを見ても分かりづかったです。Web上での決済や予約をできるようにしていただけたらありがたいです。選挙の投票をWeb上でできるようにしてほしいです。
高松城や新幹線など、将来の負の遺産になりそうなものを作らない。ある程度人口が密集し、公共サービスなどを受けられやすい、環境が整いやすくする。
うどん県と言っているのに、日曜日やGWなど長期休みにうどん屋さんに休みが多い。せっかくの観光客もガッカリすると思います。
電線対策をお願いします。新田街道も電線が複雑に多すぎて恐いです。凄い状態です。電線を地下にうめて安全と景観を良くしましょう。
若い働き手が、サービス業や飲食業等で確保できるよう、新人研修だけではなく、スキルアップしていけるようなシステムを作る必要がある。これからは、利用者以上に働き手の不足による店舗の減少が進んで、ますます人口減少は進んでいくので、店舗や工場等が減らないようにする対策が必要だと思う。中小企業を支えていかなければ、まちづくりは不可能。
人口減少対策について対策を取っているとは思えない。現在勤めている会社も含め、男女差がかなりある。(給料水準の差、待遇、子どもができると退職、結婚すると退職を求められる) 転職の際に「結婚、出産の予定はありますか?」と聞く会社が多い。結婚率、出生率の低下には働きにくい環境がある。(働かないと結婚、出産は不可能)
人間の都合でさっ処分される動物をゼロにするよう取り組んでほしい。
若者が就業しやすいような支援(年配の方より若者への支援に力を入れて欲しいです)

自由意見
子供がほしくてもできない人もたくさんいると思う。私もその一人。でもどうしようもないことだとあきらめた！だから子供のこととかをアンケートされるのはつらい。そういう人たちのことも考えてアンケートしてください！まずはそういう事からじゃないですか？傷つく事理解できますか？私は今回のこのアンケートの事について一生忘れない。本当はアンケートに答えるつもりは無かったけどあえて書きました。楽しいばかりの人生が良いのが当たり前。子供も欲しい人ほしくない人色々だと思うけど、努力してもできなかった人たちには残酷な質問ですよね。これも人生だと思い今回書かせてもらいました。
不正をなくしてほしい。
街に活気が出るよう工夫して欲しい。人もモノもレジャーも少なくて物足りない。
・災害に対しては隠さずストレートに ・民間の婚活業者は必要ない。税金を使っても地方自治体がすべき
バスなどの通行もなくこれから年老いた時どうすればいいのか不安になる。琴電の駅への道程も遠いし、子供たちの登下校を見ていると車の側を歩くような場所が多々あり危険を感じます。皆が他の子を自分の子供同様に接する事の出来るあたたかな町にしてほしいです。
人口減少のためには、子供を産んで育てやすい環境にして欲しい。現在まだまだ不景気で子供を育てるのは大変苦しい。（金銭面）高校、大学の事を思うと不安で先が暗い。まずは高校生まで医療費免除をお願いしたい。1500人のアンケートを無駄にしないで…。
ある程度の年月を高松で過ごしておりますが、これまでやってこれたのも市政のおかげもあると思います。感謝しております。
現在住んでいる自治会では小学生は一人もいない。世帯数も減少するばかりで空き家も増し高齢者が目立つ。若者はほとんどが親元を離れ別所帯。三世帯同居すれば何らかの補助金メリットがあり、親の介護も家族がすれば税金の恩恵を受けられるように、子供たちも家族で助け合い育てる。虐待も無くなり認知症の人も少なくなるのでは。周りを見ているとホームに入居すれば2～3年で認知が始まり寂しい日々を送っている。やはり高齢になっても自立して自分の事は自分で又希望を持ち生活している人は元気である。
幅広い世代のそれぞれの抱える問題に行政としてもっといろんな方法で自ら聞く姿勢が大切と思う。既に行っていることも改善点は無いかな等現場の声をもっと積極的に聞くべきだと思う。
もっと若者に行きたい！と思わせる中心街にほしい。現状それが全くない。大型店が郊外にばかりできるので、車の無い世帯には不便。人口減少対策は、周りがみな大学選択の時点で県外に出るケースが多く、そのまま転出先または都会に就職するパターンの修正が必要。（自分もそのルート）また魅力的な企業も少ないので、大学・企業両方を用意する必要があると思う。
高松で働きたい人は多いが、大企業の中にいると東京への転勤を余儀なくされる。家族ごと転勤すると戻ってこれなくなる人が多い。企業が地方でも便利に運営できるようにすると人が集まると思う。

自由意見
・自家用車が無くても移動手段が充実しているまちづくり ・歩道が広く、自転車や歩行者がマナーを守る安全な道路整備 ・三世代で住めば、税優遇されたり手当がもらえたりできる税制改革（孫の世話は祖父母、祖父母（親）の世話は子ができるので、保育や介護に税金を使うことが少なくなるので、その分手当として支給してほしい）
他府県から通学の為に一人暮らしをする学生の支援 企業の誘致 & 支援 & 流出をふせぐ 道路工事後の舗装がひどい、ガタガタ 舗装率を自慢するならキレイに舗装を！！
人口減少がなぜいけないのか知りたい。 今までが異常に多すぎたのでは？ 適切な人口を市としてどう考えているのか。
映画館の充実
災害の少なさを活かした何らかの施設を進めてほしい。 BCPサテライトオフィス等 対外的にいいイメージを持ってもらえるような何かアピールしたい。 （災害の少なさ、中心地の再開発等）
各省を東京都に集中させるのではなく、東京都以外の地方にばらけさせ、機能を有する地を分散させるべき。 この国は東京一辺倒になりすぎている。
近所は空き家が多くて防犯面や災害が起こったときの倒壊が心配です。地区柄細い道が多いので地震が起こる前に整備をしてもらいたいです。
私の住む国分寺は田や畑が次々と開発され新しい住宅が増加しています。しかし空き家や空き地等も同時に増加しています。実際、私の家の隣は空き家でその敷地の草刈り等は実態として私たちを含めた近所で行っています。兼業的な農家や神社の運営は無関心な人たちが増え難しくなっています。また、地域のコミュニティが高齢化しているため、将来にわたって水管理等のインフラや農地を維持していくことに不安を持っています。このような地域の根本的な問題に対してきちんと焦点を合わせていただけることを切に望みます。
買物等は便利だが、香西方面はバスしかないために（そのバスも便数や遅い時間まで走っていない）不便さを強く感じている。また空き家や道路について職業柄感じることもあるが、早め手を打たないとどんどん手遅れになっていく気がする。丸亀町が元気になるのは良いがもう少し別のエリアにも目を向けて欲しいと思う。

自由意見

人は税金の為に働いている訳ではありません。国や県、市が税金を求めるなら高収入の人から求めればいい。

低収入の人から税金を求められたら生活ができる訳がないと思います。

自分の為に精一杯なら家族などつくる必要もないし、人口減少の原因にもなる。

日本は税金や年金問題が酷いと思う。

今一生懸命働いている人々が税金や年金を払い続けて、今後何かメリットがありますか？

まずそこを考えてみてください。

大学等高等教育の学費に対する経済的支援があると、人口増につながると思われます。

支援をした学生は、何年か高松市で就労することを約束事とすればいいと思います。